

J4999044

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENTU.S. PTO
09/500174

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1999年 3月10日

出 願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第063844号

出 願 人

Applicant (s):

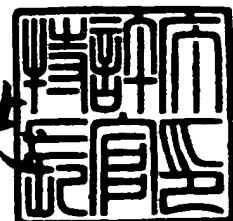
インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレイション

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年 4月30日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

山 建 志



出証番号 出証特平11-3027823

【書類名】 特許願

【整理番号】 JA999044

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県大和市下鶴間 1 6 2 3 番地 1 4 日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所内

【氏名】 勝野 恭治

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県大和市下鶴間 1 6 2 3 番地 1 4 日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所内

【氏名】 本田 良司

【特許出願人】

【識別番号】 390009531

【住所又は居所】 アメリカ合衆国 1 0 5 0 4、ニューヨーク州アーモンク（番地なし）

【氏名又は名称】 インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション

【代理人】

【識別番号】 100086243

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 博

【連絡先】 0 4 6 2 - 7 3 - 3 3 1 8、3 3 2 5、3 4 5 5

【選任した代理人】

【識別番号】 100091568

【弁理士】

【氏名又は名称】 市位 嘉宏

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 024154

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9304391

【包括委任状番号】 9304392

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 移動体通信システムおよびその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して発呼を行う移動体通信システムであって、

複数の前記移動局それぞれの位置を記憶する位置記憶手段と、

少なくとも前記呼び出し範囲の指定を受け入れる指定受入手段と、

受け入れられた前記呼び出し範囲と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択する移動局選択手段と、

発呼先として選択された前記移動局に対して発呼を行う発呼手段と

を有する移動体通信システム。

【請求項 2】

指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して、少なくとも指定された時間帯に発呼を行う移動体通信システムであって、

前記指定受入手段は、少なくとも前記時間帯の指定をさらに受け入れ、

前記移動局選択手段は、受け入れられた前記呼び出し範囲および前記時間帯と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択する

請求項 1 に記載の移動体通信システム。

【請求項 3】

前記複数の移動局と無線回線を介して接続される基地局と、前記位置記憶手段、前記指定受入手段、前記移動局選択手段および発呼手段を含み、前記基地局を介して前記複数の移動局それぞれに対して発呼する発呼装置を含む移動体通信システムであって、

前記移動局それぞれは、

移動局の位置を検出する位置検出手段と、

検出された前記移動局の位置を前記発呼装置に対して通知する位置通知手段と

を有する請求項 1 に記載の移動体通信システム。

【請求項 4】

指定された範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信システムであって、

前記移動局それぞれは、

少なくとも前記範囲の指定を受け入れる指定受入手段と、

受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信する情報送信手段と、

送信された前記情報を受信する情報受信手段と、

移動局の位置を検出する位置検出手段と、

検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示する情報提示手段と

を有する移動体通信システム。

【請求項 5】

指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して発呼を行う移動体通信方法であって、

複数の前記移動局それぞれの位置を記憶し、

少なくとも前記呼び出し範囲の指定を受け入れ、

受け入れられた前記呼び出し範囲と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択し、

発呼先として選択された前記移動局に対して発呼を行う

移動体通信方法。

【請求項 6】

指定された範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信方法であって、

前記移動局それぞれは、

少なくとも前記範囲の指定を受け入れ、

受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信し、

送信された前記情報を受信し、

移動局の位置を検出し、

検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示する

移動体通信方法。

【請求項 7】

前記複数の移動局と無線回線を介して接続される基地局と、前記位置記憶手段、前記指定受入手段、前記移動局選択手段および発呼手段を含み、前記基地局を介して前記複数の移動局それぞれに対して発呼する発呼装置を含む移動体通信システムの前記移動局それぞれにおいて、

移動局の位置を検出するステップと、

検出された前記移動局の位置を前記発呼装置に対して通知するステップと

をコンピュータに実行させるプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 8】

指定された範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信システムの前記移動局それぞれにおいて、

少なくとも前記範囲の指定を受け入れるステップと、

受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信するステップと、

送信された前記情報を受信するステップと、

移動局の位置を検出するステップと、

検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示するステップと

をコンピュータに実行させるプログラムを記憶した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、一定の範囲内に位置する携帯電話端末・PHS 端末に対して、時間帯等を指定して発呼し、あるいは、情報の提示を行う移動体通信システムおよびその方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

携帯電話・PHS等が盛んに利用されている。

また、携帯電話・PHSの移動端末が、いずれの基地局の通話エリア内にいるか等の情報に基づいて、移動端末の位置を知らせるサービス等が実用化されている。

また、例えば、特開平 1 0－3 2 6 2 4 1 号公報、特開平 8－2 5 6 1 4 2 号公報、特開平 1 0－3 2 2 3 9 7 号公報および特開平 9－9 1 3 5 8 号公報は、データベースに記憶された各端末の属性に基づいて、通信相手とする端末を選択する方法を開示する。

また、特開平 1 0－2 3 4 0 7 1 号公報は、3つの基地局と移動端末との間の信号強度・位相を測定して、移動端末の位置を特定する方法を開示する。

【0 0 0 3】

しかしながら、通話エリアと移動端末の位置とを対応づけただけでは、必ずしも具体的な位置を指定して通信相手を選択することはできない。

例えば、通話エリア A 内に鉄道駅 B，C が含まれる場合、「通話エリア A 内の移動端末」と指定して通信相手を選択すると、選択された移動端末には、B 駅および C 駅の両駅の近くの移動端末が通信相手として選ばれてしまい、B 駅の近くの移動端末だけを通信相手として選択することはできない。

【0 0 0 4】

逆に、D 駅が通話エリア E，F の両方に含まれる場合、D 駅の近くの端末を通信相手に選択しようとする、通話エリア E 用の基地局と通信している移動端末だけを通信相手として選択することはできるが、D 駅の近くにいて通話エリア F 用の基地局と通信している移動端末を通信相手として選択することはできない。

移動局が存在する通話エリアをデータベースに加え、通信相手の移動端末を選択しようとしても、このような問題は解消しない。

【0 0 0 5】

また、検出した移動端末の位置に基づいて通話相手の位置的範囲および時間帯を指定して通信相手を選んだり、通話相手の属性（趣味・年齢など）をさらに指定して通信相手を選んだりすることは、従来、できなかった。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は上述した従来技術の問題点に鑑みてなされたものであり、具体的な位置を指定して通信相手を選択することができる移動体通信システムおよびその方法を提供することを目的とする。

また、本発明は、具体的な位置を指定し、さらに、時間帯や属性をさらに指定して通信相手を選ぶことができる移動体通信システムおよびその方法を提供する。

【 0 0 0 7 】

【課題を達成するための手段】

〔第 1 の移動体通信システム〕

上記目的を達成するために、本発明にかかる第 1 の移動体通信システムは、指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して発呼を行う移動体通信システムであって、複数の前記移動局それぞれの位置を記憶する位置記憶手段と、少なくとも前記呼び出し範囲の指定を受け入れる指定受入手段と、受け入れられた前記呼び出し範囲と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択する移動局選択手段と、発呼先として選択された前記移動局に対して発呼を行う発呼手段とを有する。

【 0 0 0 8 】

好適には、指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して、少なくとも指定された時間帯に発呼を行う移動体通信システムであって、前記指定受入手段は、少なくとも前記時間帯の指定をさらに受け入れ、前記移動局選択手段は、受け入れられた前記呼び出し範囲および前記時間帯と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択する。

【 0 0 0 9 】

好適には、前記複数の移動局と無線回線を介して接続される基地局と、前記位置記憶手段、前記指定受入手段、前記移動局選択手段および発呼手段を含み、前記基地局を介して前記複数の移動局それぞれに対して発呼する発呼装置を含む移動体通信システムであって、前記移動局それぞれは、移動局の位置を検出する位

置検出手段と、

検出された前記移動局の位置を前記発呼装置に対して通知する位置通知手段とを有する。

【0 0 1 0】

〔第 1 の移動体通信システムの作用〕

第 1 の移動体通信システムは、1 つの基地局の通信エリアの半径が数 k m 程度の携帯電話網を利用して実現され、ある基地局の通信エリア内に入っている移動局に対して呼び出しを行うのではなく、絶対的な位置的範囲の指定を受け、指定された範囲内に存在する移動局に対して呼び出しを行う。

【0 0 1 1】

例えば、第 1 の移動体通信システムの移動局それぞれは、G P S (Global Positioning System) 装置を内蔵し、この G P S 装置を用いて移動体それぞれの位置（緯度・経度）を測定し、移動体通信網およびインターネット等を介して、サーバ装置に通知する。

〔位置検出手段〕

例えば、移動局において、位置検出手段は、上述した G P S 装置であって、例えば、周期的に、あるいは、サーバ装置からの要求に応じて、移動局の位置（緯度・経度）を測定する。

【0 0 1 2】

〔位置通知手段〕

例えば、移動局において、位置通知手段は、周期的に、あるいは、サーバ装置からの要求に応じて、上述のように検出された移動局の位置を、例えば、P D A 装置・携帯電話機相互間の文字通信の方法として一般的なショートメールの形式で、サーバ装置に通知する。

【0 0 1 3】

〔位置記憶手段〕

例えば、サーバ装置において、位置記憶手段は、移動局からショートメールの形式（あるいはインターネットと移動体通信網とを接続するゲートウェイにおいてショートメールを通常のメール（インターネットメール）に変換する場合には

通常のメールの形式)で通知された移動局それぞれの位置を示すデータ(緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等)を記憶し、管理する。つまり、位置記憶手段は、移動局それぞれの位置を記憶・管理するデータベースとしての役割を果たす。

【0014】

[指定受入手段]

例えば、サーバ装置において、指定受入手段は、移動局を呼び出そうとする位置的範囲(緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等)の指定を受け入れ、さらに、移動局を呼び出す時間帯の指定を受け入れる。

【0015】

[移動局選択手段]

例えば、サーバ装置において、移動局選択手段は、データベースを検索して、受け入れられた位置的範囲内に存在する移動局を選択する。

【0016】

[発呼手段]

例えば、サーバ装置において、発呼手段は、指定された時間帯に、選択された移動局に対する発呼処理を行う。

サーバ装置は、発呼先の移動局との間に通信路が設定された場合には、その端末に対して情報の提供等をさらに行う。

【0017】

[第2の移動体通信システム]

また、本発明にかかる第2の移動体通信システムは、指定された範囲内に位置する1つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信システムであって、前記移動局それぞれは、少なくとも前記範囲の指定を受け入れる指定受入手段と

受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信する情報送信手段と、送信された前記情報を受信する情報受信手段と、移動局の位置を検出する位置検出手段と、検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示する情報提示手段とを有する。

【0 0 1 8】

〔第2の移動体通信システムの作用〕

第2の移動体通信システムは、例えば、第1の移動体通信システムとは異なり、1つの基地局の通信エリアが半径100m程度のPHS通信網、あるいは、PHS通信網と携帯電話システムとを併用して実現され、サーバ装置なしに、移動局同士で直接、通信を行うことができる場合に好適なシステムであって、移動局のひとつが他の移動局に対して、位置的範囲を指定して情報を送信し、他の移動局それぞれは、自らが指定された位置的範囲に含まれるかを判断し、位置的範囲に含まれている場合には受信した情報を表示する。

【0 0 1 9】

〔指定受入手段〕

情報を送信しようとする移動局において、指定受入手段は、情報の送り先の移動局の位置的範囲（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等）の指定を受け入れる。

【0 0 2 0】

〔情報送信手段〕

情報を送信しようとする移動局において、情報送信手段は、送ろうとする情報と、位置的範囲を指定する情報とを、例えば、ショートメールの形式で、他の移動局それぞれに対して送信する。

【0 0 2 1】

〔情報受信手段〕

移動局それぞれにおいて、情報受信手段は、送ろうとする情報と、位置的範囲を指定する情報とを含むショートメールを受信する。

【0 0 2 2】

〔位置検出手段〕

移動局それぞれにおいて、位置検出手段は、例えば、上述したGPS装置であって、移動局それぞれの位置（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等）を検出する。

【0 0 2 3】

〔情報検出手段〕

移動局それぞれにおいて、情報提示手段は、上述のように検出された移動局の位置（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等）が、受信したショートメールに含まれる位置的範囲（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等）に含まれる場合には、受信したショートメールに含まれる情報本体を、表示装置に表示してユーザに対して提示する。

反対に、情報提示手段は、その移動局の位置が、ショートメールに含まれる範囲から外れる場合には、情報本体をユーザに対して提示しない。

【 0 0 2 4 】

〔第 1 の移動体通信方法〕

また、本発明にかかる移動体通信方法は、指定された呼び出し範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して発呼を行う移動体通信方法であって、複数の前記移動局それぞれの位置を記憶し、少なくとも前記呼び出し範囲の指定を受け入れ、受け入れられた前記呼び出し範囲と、記憶された前記移動局それぞれの位置とに基づいて、発呼先の前記移動局を選択し、発呼先として選択された前記移動局に対して発呼を行う。

【 0 0 2 5 】

〔第 2 の移動体通信方法〕

また、指定された範囲内に位置する 1 つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信方法であって、前記移動局それぞれは、少なくとも前記範囲の指定を受け入れ、受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信し、送信された前記情報を受信し、移動局の位置を検出し、検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示する。

【 0 0 2 6 】

〔第 1 の記録媒体〕

また、本発明にかかる第 1 の記録媒体は、前記複数の移動局と無線回線を介して接続される基地局と、前記位置記憶手段、前記指定受入手段、前記移動局選択手段および発呼手段を含み、前記基地局を介して前記複数の移動局それぞれに対

して発呼する発呼装置を含む移動体通信システムの前記移動局それぞれにおいて、移動局の位置を検出するステップと、検出された前記移動局の位置を前記発呼装置に対して通知するステップとをコンピュータに実行させるプログラムを記憶する。

【0027】

〔第2の記録媒体〕

また、本発明にかかる第2の記録媒体は、指定された範囲内に位置する1つ以上の移動局に対して情報の提示を行う移動体通信システムの前記移動局それぞれにおいて、少なくとも前記範囲の指定を受け入れるステップと、受け入れられた前記範囲の指定を含む情報を、他の移動局に対して送信するステップと、送信された前記情報を受信するステップと、移動局の位置を検出するステップと、検出された前記移動局の位置が、受信された前記情報に含まれる前記範囲内である場合に、情報を提示するステップとをコンピュータに実行させるプログラムを記憶する。

【0028】

【発明の実施の形態】

〔第1実施形態〕

以下、本発明の第1の実施形態を説明する。

【0029】

〔通信システム1〕

図1は、本発明にかかる第1の移動体通信方法が適用される第1の通信システム1の構成を例示する図である。

図1に例示するように、通信システム1は、携帯電話システム2、サーバ12、インターネット100およびゲートウェイ102から構成される。

携帯電話システム2は、有線通信網200、複数の基地局202-1～202-i～202-n（以下、特定せずにいずれかを示す場合には基地局202と記す）および複数の携帯電話移動局22-1～22-j～22-m（以下、特定せずにいずれかを示す場合には移動局202と記す）を含む。

なお、以下、携帯電話移動局22を、サーバ12と対比させる場合には、「ク

ライアント」とも記す。

【0 0 3 0】

通信システム 1 は、これらの構成部分により、基地局 2 0 2 の通信エリア（通話エリア）に関係ない位置的な範囲の指定を受けて、この指定された範囲内にいる携帯電話移動局 2 2 に対して発呼を行い、例えばショートメール（以下、特に断らない限り、メールは電子メールを意味する）の配信等のサービスを行うことができるようになっている。

【0 0 3 1】

〔インターネット 1 0 0〕

インターネット 1 0 0 は、サーバ 1 2 とゲートウェイ 1 0 2 との間でデータを伝送する。

【0 0 3 2】

〔ゲートウェイ 1 0 2〕

ゲートウェイ 1 0 2 は、携帯電話システム 2 から、携帯電話システム 2 内部の伝送に適合した形式のショートメールのデータを受信し、受信したショートメールのデータを、インターネット 1 0 0 において伝送可能な形式の通常のメール（インターネットメール）のデータに変換し、インターネット 1 0 0 に対して送信する処理、および、これと逆の処理等を行い、携帯電話システム 2 とインターネット 1 0 0 との間でデータを双方向に伝送する。

【0 0 3 3】

〔基地局 2 0 2〕

基地局 2 0 2 は、携帯電話移動局 2 2 と有線通信網 2 0 0 との間を、数キロメートルの無線通信回線で接続し、これらの間で双方向に音声データおよびショートメールのデータ等を伝送する。

【0 0 3 4】

〔有線通信網 2 0 0〕

有線通信網 2 0 0 は、交換機等を含み、携帯電話の通信に必要な機能を提供する。

つまり、有線通信網 2 0 0 は、インターネット 1 0 0 側からゲートウェイ 1 0

2を介して入力されるデータを基地局202を介して携帯電話移動局22に対して送信し、逆に、携帯電話移動局22から基地局202を介して受信されたデータを、ゲートウェイ102を介してインターネット100側に送信する。

また、有線通信網200は、基地局202相互間に通信路を設定し、基地局202相互間で音声データおよびショートメールのデータ等を伝送する。

【0035】

[サーバ12]

図2は、図1に示した通信システム1のサーバ12の構成を例示する図である。

図2に示すように、サーバ12は、マイクロプロセッサ、メモリおよびこれらの周辺回路等を含むCPU122、マウスおよびキーボード等を含む入力装置124、CRTディスプレイあるいは液晶表示装置(LCD)等の表示装置、モデムあるいはターミナルアダプタ(TA)等のインターネット100に適合した通信装置128、および、ハードディスク装置、CDROMドライブおよび光磁気ディスク(MO)等の記憶媒体120に対してデータを読み書きする記憶装置130から構成される。

つまり、サーバ12は、通信機能を有するコンピュータとしての構成部分を有している。

【0036】

図3は、図1、2に示したサーバ12が実行するサーバプログラム14の構成を示す図である。

図3に示すように、サーバプログラム14は、OS140、通信部142、位置情報処理部150、検索部152およびデータベース(DB)部16から構成される。

DB部16は、位置DB160、個人DB162および送信情報(時空間情報)DB164を含む。

通信部142は、送信部144および受信部146を含む。

【0037】

サーバプログラム14は、例えば、記憶媒体120(図2)に記録されてサー

バ 12 に供給され、記憶装置 130 から CPU 122 のメモリ（図示せず）にロードされ、実行される。

サーバプログラム 14 は、これらの構成部分により、携帯電話移動局 22 それぞれから送られてくる位置データ、および、携帯電話移動局 22 それぞれを用いるユーザの個人情報をデータベースに記憶し、指定された時間帯に、指定された位置的範囲内にある 1 つ以上の携帯電話移動局 22 に対して発呼し、ショートメールデータ等を配信する。

【0038】

[OS 140]

OS 140 は、ウィンドウズ（マイクロソフト社商標）および OS/2（IBM 社商標）等のオペレーティングシステムであって、他のソフトウェアモジュールの実行を管理する。

また、OS 140 は、指定された時間帯に携帯電話移動局 22 に発呼する処理を実現するために用いられるカレンダーおよび時間情報を、他のソフトウェアモジュールに対して供給する。

【0039】

また、140 は、入力装置 124（図 2）等をユーザ（オペレータ）が操作して入力した操作入力、および、オペレータにより指定され、入力装置 124 あるいは記憶装置 130 等から入力され、受信先の携帯電話移動局 22 の表示・入力装置 226 に表示され、ユーザに対して提示される提示データを受け入れ、サーバプログラム 14 の構成部分（送信部 144 等）に対して送信する。

なお、図示の簡略化のために、OS 140 と他の構成部分との間で入出力されるデータは、図 3 において適宜、省略されている。

【0040】

[受信部 146]

通信部 142 の受信部 146 は、携帯電話移動局 22 それぞれから、インターネット 100 等を介して送られてきたメールを受信し、メールに含まれている携帯電話移動局 22 それぞれの位置情報（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標等）を示す GPS データ等を分離し、位置情報処理部 150 に対して出力する

【0041】

[送信部 144]

送信部 144 は、検索部 152 から入力される検索結果に含まれる携帯電話移動局 22 のユーザ名、および、OS 140 を介して入力される提示情報等の情報（第 1 実施形態においては、具体的には、図 7 を参照して後述する送信情報テーブル（時間と送信先の位置的範囲の両方を含むので時空間情報テーブルとも記す）の 1 項目に含まれる情報；以下、単に時空間情報と記す）をそれぞれ含む 1 通以上のメールを生成し、インターネット 100 等を介して、配信先として選択された携帯電話移動局 22 に対して送信する。

【0042】

[位置情報処理部 150]

図 4 は、サーバプログラム 14 の位置情報処理部 150 および OS 140 が、DB 部 16 に情報を設定する処理を例示するシーケンス図である。

位置情報処理部 150 は、図 4 に例示するように、受信部 144 から入力される携帯電話移動局 22 それぞれの GPS データが示す位置情報と、携帯電話移動局 22 それぞれのユーザ名とを対応付けて DB 部 16 の位置 DB 160 に対して出力し、位置 DB 160 は、位置情報処理部 150 に ACK を返す。

【0043】

[位置 DB 160]

図 5 は、図 3 に示したサーバプログラム 14 の位置 DB 160 が管理する位置情報テーブルを例示する図であり、図 6 は、個人 DB 162 が管理する個人情報テーブルを例示する図であり、図 7 は、時空間 DB 164 が管理する送信情報テーブル（時空間情報テーブル）を例示する図である。

DB 部 16 の位置 DB 160 は、位置情報処理部 150 から入力された携帯電話移動局 22 の位置情報と、入力装置 124 あるいは記憶装置 130 等から OS 140 を介して入力され、その携帯電話移動局 22 のユーザ名とを対応づけて、図 5 に示すような位置管理テーブルを作成し、記憶・管理する。

【0044】

なお、ユーザ名は、携帯電話システム2における携帯電話移動局22の携帯電話番号であって、メールアドレスとしても用いられる。例えば、あるユーザの携帯電話移動局22の携帯電話番号が、「XXX-XXXX-XXXX」である場合には、その携帯電話移動局22のメールアドレスは、例えば、「XXXXXXXXXXXX@ABC.ne.jp (ABCはプロバイダ名)」のように付与される。

【0045】

[個人DB162]

個人DB162は、OS140を介して入力される携帯電話移動局22のユーザ名と、同様にOS140を介して入力され、その携帯電話移動局22のユーザの趣味・嗜好等の個人情報とを対応付けて、図6に示すような個人情報テーブル（以下、個人情報テーブルの1項目を、単に個人情報とも記す）を作成し、記憶・管理する。個人DB162も、位置DB160と同様な手順で情報の設定を受け付ける。

【0046】

[時空間DB164]

時空間DB164は、OS140を介して入力される各情報（メッセージID、カテゴリ、有効時刻、有効範囲指定法、有効範囲、最大受信者数、コンテンツ）とを対応づけて、図7に示すような送信情報テーブル（時空間情報テーブル）を作成し、記憶・管理する。時空間DB164も、位置DB160と同様な手順で情報の設定を受け付ける。

なお、送信情報テーブル（時空間情報テーブル）において、ユーザ名と対応づけられる各情報の内容は、以下の通りであり、送信情報テーブル（時空間情報テーブル）の各項目（各行；時空間情報）に含まれる情報が、ショートメールの内容としてサーバ12と携帯電話移動局22との間で伝送される。

【0047】

[時空間情報テーブルの内容]

以下、送信情報テーブル（時空間情報テーブル；図7）の内容を説明する。

【作成者】は、送信情報（時空間情報）を作成したユーザのユーザ名を示す。

「メッセージID」は、発信先の位置的範囲および発信時間帯を指定して携帯電話移動局 2 2 に提示する時空間情報それぞれを識別するために、ユーザ名ごとにユニークに付される番号である。

この「メッセージID」は、携帯電話移動局 2 2 において、受信した時空間情報を管理するために用いられる。

【0 0 4 8】

「カテゴリ」は、例えば、下記「有効範囲」内に、「最大受信者数」を超える数の携帯電話移動局 2 2 がある場合に、送信情報（時空間情報）の配信先を絞り込むときに用いられる属性を示し、例えば、ユーザそれぞれの趣味・嗜好に対応する記号などが設定される。

【0 0 4 9】

「有効時刻」は、8 桁の数字で示され、これらの数字は、月日時分をそれぞれ 2 つの数字で表し、例えば、「有効時刻」に「aabbccdd」の 8 桁の数字が設定された場合には、aa 月 bb 日 cc 時 dd 分を表す。

「有効時刻」は、送信情報（時空間情報）が無効化される日時を示す。つまり、各時空間情報は、設定されてから「有効時刻」が示す日時までの時間帯に送信され、それ以降は送信されなくなる。

【0 0 5 0】

「有効範囲指定法」は、送信情報（時空間情報）を含むショートメールの配信先の位置的範囲を指定する方法を示す。例えば、有効範囲指定法の項目に 1 が設定されると、絶対的な有効範囲指定法が採られることが示され、2 が設定されると、相対的な有効範囲指定法が採られることが示される。

【0 0 5 1】

「有効範囲」は、上記「有効範囲指定法」により指定された方法でショートメールの配信先の位置的範囲を示す数値が設定される。

つまり、「有効範囲指定法」に 1（絶対的な有効範囲指定法）が設定されると、「有効範囲」には、メールの配信先の位置的範囲の中心の緯度・経度および半径を示す 3 個一組の数値が設定される。

また、「有効範囲指定法」に 2（相対的な有効範囲指定法）が設定されると、

「有効範囲」には、メールの配信先の位置的範囲の中心にいる携帯電話移動局 2 2 のユーザ名（携帯電話番号）および範囲の半径を示す 2 個一組の数値が設定される。

【 0 0 5 2 】

なお、有効範囲の中心の緯度・経度および範囲の半径の指定を受けて、携帯電話移動局 2 2 それぞれの位置が、この有効範囲に入るか否かの判断は、例えば、

「日本測量協会」発行の「精密測地網一次基準点測量作業規定」に記載された方法に基づいて行うことができる。

【 0 0 5 3 】

例えば、品物の提供を行う内容の提示情報（下記コンテンツ）を流すときに、品物の数に限りがあるような場合には、無制限に多い携帯電話移動局 2 2 に提示情報を流すより、提示情報を流す携帯電話移動局 2 2 の数を限定する方が望ましいことがある。

「受信者最大数」は、このような場合に、提示情報を限定して送信する場合の携帯電話移動局 2 2 の最大数を示す。なお、例えば、受信者最大数に 0 が設定された場合には、提示情報を流す携帯電話移動局 2 2 の数を限定しないことを示す。

【 0 0 5 4 】

「コンテンツ」は、配信先の携帯電話移動局 2 2 の表示・入力装置 2 2 6（図 5 を参照して後述）等に表示される提示情報の内容（コンテンツ）を示す。

【 0 0 5 5 】

[検索部 1 5 2]

図 8 は、サーバプログラム 1 4（図 3）の検索部 1 5 2 が、DB 部 1 6 に記憶・管理された情報を検索する処理を例示するシーケンス図である。

検索部 1 5 2 は、図 8 に示すように、処理の進行に従って、時空間 DB 1 6 4 に対してデータ獲得要求を出して、時空間 DB 1 6 4 が記憶・管理する送信情報テーブル（時空間情報テーブル；図 7）に含まれる送信情報（時空間情報）を受ける。

【 0 0 5 6 】

その時点でOS 140からのデータが示す時刻が、時空間DB 164が記憶・管理する送信情報テーブル（時空間情報テーブル）のいずれかの項目（送信情報（時空間情報））の「有効時刻」が示す時間帯に含まれる場合には、位置DB 160が記憶・管理する情報（図5）を検索し、その項目の「有効範囲」が示す位置的範囲にあるユーザ名（ユーザ名A）を選択する。

【0057】

さらに、検索部152は、図8に示すように、個人DB 162が記憶・管理する情報（図6）を検索し、提示情報（時空間情報（図7）のコンテンツ）の送信先をさらに限定する目的で別途入力される個人情報と、個人情報が一致する項目のユーザ名（ユーザ名B）を選択する。

検索部152は、これらのユーザ名（ユーザ名Aおよびユーザ名B）の両方に含まれるユーザ名を、最終的な提示情報（時空間情報（図7）のコンテンツ）の配信先の携帯電話移動局22のユーザのユーザ名として選択し、送信部144に対して出力する。

【0058】

図9は、図1に示した通信システム1の携帯電話移動局22の構成を例示する図である。

図10は、図1，9に示した携帯電話移動局22が実行するクライアントプログラム24の構成を示す図である。

図9に示すように、携帯電話移動局22は、CPU 220、フラッシュメモリ 222、キーボード（テンキー）224、表示・入力装置226、通信装置228、および、GPS装置230を有する。

つまり、携帯電話移動局22は、音声通話機能に加え、ショートメール通信機能を有する携帯電話に、GPS装置230を加えた構成を採る。

【0059】

[CPU 220]

CPU 220は、いわゆるワンチップマイクプロセッサ等であって、携帯電話用のプログラム（図示せず）を実行して、一般的な携帯電話としての機能、つまり、音声通話機能とショートメール通信機能を実現する。

また、CPU 220は、携帯電話移動局 22の各構成部分の不揮発性メモリ（フラッシュメモリ 222）に記憶されたクライアントプログラム 24（図 10を参照して後述）を実行し、本発明にかかる移動体通信方法を実現する。

【0060】

〔表示・入力装置 226〕

表示・入力装置 226は、LCD表示装置およびその画像表示面に張り付けられた透明な入力用タブレットとから構成され、LCD表示装置に表示したGUI画像に対してユーザがスタイラスなどを用いて行う操作を受け入れ、CPU 220（クライアントプログラム 24）に対して出力する。

また、表示・入力装置 226は、キーボード 224および表示・入力装置 226に入力された情報、および、受信したショートメールに含まれる提示情報（時間情報（図 7）のコンテンツ）を表示してユーザに提示する。

【0061】

〔GPS装置 230〕

GPS装置 230は、人工衛星からの信号を受信して携帯電話移動局 22の位置を検出し、携帯電話移動局 22の位置を示すGPSデータ（緯度・経度あるいはこれらに対応する座標）を生成してCPU 220（クライアントプログラム 24）に対して出力する。

【0062】

〔通信装置 228〕

通信装置 228は、アンテナ、マイクおよびスピーカ等を含み、音声通話機能を実現する。

また、通信装置 228は、CPU 220（クライアントプログラム 24）と、他の 22あるいはサーバ 12との間で、基地局 202、有線通信網 200、ゲートウェイ 102およびインターネット 100を介してショートメールの送受信を行い、ショートメール通信機能を実現する。

【0063】

〔クライアントプログラム 24〕

図 10に示すように、クライアントプログラム 24は、OS 24、通信部 24

2、GPS制御部254、位置情報処理部250から構成され、通信部242は、送信部244、受信部246DB部260を含む。

なお、上述したように、図10においては、本発明にかかる移動体通信方法に関係がない音声通話機能等を実現するプログラムは省略されている。

【0064】

クライアントプログラム24は、例えば、記録媒体120に記録されて携帯電話移動局22に供給され、携帯電話移動局22に接続可能な記憶装置130を介してフラッシュメモリ222に設定され、CPU220により実行される。

クライアントプログラム24は、これらの構成部分により、サーバ12（クライアントプログラム24）からの要求に応じて、携帯電話移動局22の位置を示すGPSデータをサーバ12に対してショートメールの形式で送信し、また、サーバ12から送られてきたショートメールに含まれる提示情報（時空間情報（図7）のコンテンツ）を、表示・入力装置226に表示する。

【0065】

[OS240]

OS240は、携帯電話端末あるいはPDA装置に適したウィンドウズCE（マイクロソフト社商品名）等のオペレーティングシステムであって、クライアントプログラム24の各構成部分の実行管理等を行う。

また、OS240は、ユーザがキーボード224および表示・入力装置226に対して行った操作入力、および、その他、クライアントプログラム24の実行に必要な情報を、各構成部分に対して出力する。

なお、図示の簡略化のために、OS240と他の構成部分との間で入出力されるデータは、図10において適宜、省略されている。

【0066】

[GPS制御部254]

GPS制御部254は、GPS装置230（図9）の動作を制御し、GPS装置230から入力されるデータから、携帯電話移動局22の位置（緯度・経度等）を示すGPSデータを生成して位置情報処理部250に対して出力する。

【0067】

〔受信部 2 4 6〕

通信部 2 4 2 は、基地局 2 0 2 との間で数 k m 程度の無線通信回線を設定し、通信部 2 4 2 の受信部 2 4 6 は、サーバ 1 2 からインターネット 1 0 0 等を介して送られてきたショートメールを受信し、ショートメールに含まれるデータを位置情報処理部 2 5 0 に対して出力する。

また、受信部 2 4 6 は、受信したショートメールに含まれる提示情報（時空間情報（図 7）のコンテンツ）を表示・入力装置 2 2 6 に表示し、ユーザに提示する。

また、受信部 2 4 6 は、受信したショートメールに含まれる時空間情報を、DB 部 2 6 0 に対して出力する。

〔0 0 6 8〕

〔DB 部 2 6 0〕

DB 部 2 6 0 は、受信部 2 4 6 から入力される送信情報（時空間情報）を記憶・管理し、携帯電話移動局 2 2 のユーザの操作に応じて、送信情報（時空間情報；図 7）に含まれる提示情報（コンテンツ）を表示・入力装置 2 2 6 に表示する。

また、DB 部 2 6 0 は、送信情報（時空間情報）に含まれるメッセージ ID 等の情報に基づいて、携帯電話移動局 2 2 が複数回、同じ時空間情報を含むショートメールを受信しても、同じ情報が重複して携帯電話移動局 2 2 に記憶されることを防止する重複受信防止処理等をさらに行う。

なお、受信部 2 4 6 から DB 部 2 6 0 への送信情報（時空間情報）の出力、および、DB 部 2 6 0 から受信部 2 4 6 への応答（ACK 返送）は、図 4 に示したように行われる。

〔0 0 6 9〕

〔位置情報処理部 2 5 0〕

位置情報処理部 2 5 0 は、サーバ 1 2（サーバプログラム 1 4）からの要求に応じて、GPS 制御部 2 5 4 から GPS データを取得して送信部 2 4 4 に対して出力し、サーバ 1 2（サーバプログラム 1 4）に対して、クライアントプログラム 2 4 の位置（緯度・経度等）を通知させる。

【 0 0 7 0 】

[送信部 2 4 4]

通信部 2 4 2 の送信部 2 4 4 は、位置情報処理部 2 5 0 から入力される G P S データを含むショートメールを生成し、インターネット 1 0 0 等を介してサーバ 1 2 に対して送信する。

また、送信部 2 4 4 は、ユーザのキーボード 2 2 4 および表示・入力装置 2 2 6 に対する操作に応じて、他の携帯電話移動局 2 2 に配信しようとする提示情報（時空間情報（図 7）のコンテンツ）を作成し、さらに、作成した提示情報および位置的範囲の指定等（時空間情報）を含むショートメールを生成し、サーバ 1 2 に対して送信する。

また、送信部 2 4 4 は、必要に応じて、サーバ 1 2 側において、個人情報テーブル（図 6）を用いた配信先の携帯電話移動局 2 2（ユーザ名）の絞り込みに用いる個人情報をさらに受け入れ、時空間情報とともにショートメールに付加して送信する。

【 0 0 7 1 】

[通信システム 1 の動作]

以下、以下の各図をさらに参照して、通信システム 1（図 1）の動作を説明する。

【 0 0 7 2 】

[メール通信動作]

まず、通信システム 1 におけるメール通信処理を説明する。

図 1 1 は、通信システム 1（図 1）におけるメール通信処理を示すシーケンス図である。

図 1 1 に示すように、携帯電話移動局 2 2（図 1，9；クライアント）が、携帯電話システム 2 における伝送に適合した形式のショートメールを送信すると、送信されたショートメールは、基地局 2 0 2 および有線通信網 2 0 0 を介してゲートウェイ 1 0 2 により受信される。

ゲートウェイ 1 0 2 は、受信したショートメールを、インターネット 1 0 0 における伝送に適合した通常のメール（インターネットメール）の形式に変換し、

インターネット 100 を介してサーバ 12 に対して送信する。

サーバ 12 は、ゲートウェイ 102 から送られてきたインターネットメールを受信する。

【0073】

逆に、サーバ 12 がインターネットメールを送信すると、送信されたインターネットメールは、インターネット 100 を介してゲートウェイ 102 により受信される。

ゲートウェイ 102 は、受信したインターネットメールを、ショートメールの形式に変換し、有線通信網 200 および基地局 202 を介して携帯電話移動局 22 に対して送信する。

携帯電話移動局 22 は、サーバ 12 から送られてきたショートメールを受信する。

【0074】

[位置情報収集処理]

次に、図 12 を参照して、サーバ 12 (図 1, 2) が携帯電話移動局 22 それぞれの位置 (緯度・経度等) を示す位置情報を収集する処理を説明する。

図 12 は、通信システム 1 (図 1) における位置情報収集処理を示すフローチャートである。

図 12 に示すように、携帯電話移動局 22 (図 1, 9) において、位置情報処理部 250 (図 10) は、例えば、周期的に、あるいは、携帯電話移動局 22 がサーバ 12 から位置情報を要求する旨のショートメールを受信した場合に、GPS 制御部 254 に対して GPS データを要求する。

【0075】

GPS 制御部 254 は、GPS 装置 230 を制御して、携帯電話移動局 22 の位置 (緯度・経度) を測定させ、測定の結果として得られ、携帯電話移動局 22 の位置を示す GPS データを受け、受けた GPS データを含むショートメールをサーバ 12 に対して送信する。

サーバ 12 は、携帯電話移動局 22 からのショートメールを受信し、ショートメールに含まれるユーザ名と位置情報 (緯度・経度等) を対応付けて、位置情報

テーブル（図5）に記憶・管理する。

【0076】

〔時空間情報送信処理〕

次に、図13を参照して、携帯電話移動局22からサーバ12に対して送信情報（図7；時空間情報）を送信する処理を説明する。

図13は、通信システム1（図1）において、ユーザが送信情報（時空間情報；図7）を作成し、サーバ12に対して送信する処理を示すシーケンス図である。

【0077】

図13に示すように、ユーザは、例えば、携帯電話移動局22（図1，9）のキーボード224および表示・入力装置226を用いて送信情報（時空間情報）を作成し、さらに、携帯電話移動局22に対して、作成した送信情報（時空間情報）の送信を要求する操作を行うと、携帯電話移動局22は、サーバ12（図1，2）に対して、ユーザが作成した送信情報（時空間情報；図7）を含むショートメールを送信する。

【0078】

携帯電話移動局22が送信したショートメールは、サーバ12によりインターネットメールの形式で受信され、このインターネットメールに含まれた送信情報（時空間情報）は、サーバ12において、時空間DB164に、送信情報テーブル（時空間情報テーブル；図7）の項目の1つとして記憶・管理される。

【0079】

〔個人情報送信処理〕

次に、図14を参照して、携帯電話移動局22からサーバ12に対して個人情報（図6）を送信する処理を説明する。

図14は、通信システム1（図1）において、ユーザが個人情報（図6）を作成し、サーバ12に対して送信する処理を示すシーケンス図である。

【0080】

図14に示すように、ユーザは、例えば、携帯電話移動局22（図1，9）のキーボード224および表示・入力装置226を介して、自分の好み等、その属

性を示す個人情報を作成し、さらに、携帯電話移動局 22 に対して、作成した個人情報の送信を要求する操作を行うと、携帯電話移動局 22 の送信部 244 (図 10) は、サーバ 12 (図 1, 2) に対して、ユーザが作成した個人情報 (図 6) を含むショートメールを送信する。

携帯電話移動局 22 が送信したショートメールは、サーバ 12 によりインターネットメールの形式で受信され、このインターネットメールに含まれた個人情報は、サーバ 12 において、個人 DB 162 に、個人情報テーブル (図 6) の項目の 1 つとして記憶・管理される。

【0081】

〔第 1 の時空間情報送信処理〕

次に、図 15 および図 16 をさらに参照して、携帯電話移動局 22 (図 1, 図 9) のいずれかがサーバ 12 (図 1, 2) に対して送信情報 (時空間情報; 図 7) を含むショートメールを送信した場合 (図 13) に、サーバ 12 から携帯電話移動局 22 に対してショートメールを送信する処理 (第 1 の時空間情報送信処理) を説明する。

図 15 は、通信システム 1 (図 1) における第 1 の時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

図 16 は、通信システム 1 (図 1) における第 1 の時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【0082】

図 15 および図 16 に示すように、ステップ 101 (S101) において、例えば、携帯電話移動局 22-m が、サーバ 12 に対して送信情報 (時空間情報; 図 7) を含むショートメールを送信する。

【0083】

ステップ 102 (S102) において、サーバ 12 において動作するサーバプログラム 14 (図 3) の受信部 144 は、図 11 に示したように、サーバ 12 から送られてきたメールを受信し、時空間 DB 164 は、受信したメールに含まれる送信情報 (時空間情報) を、送信情報テーブル (時空間情報テーブル; 図 7) に記憶し、管理する。

【0084】

ステップ103において、サーバ12で動作するサーバプログラム14（図3）の検索部152は、受信したメールに含まれる送信情報（時空間情報）の有効範囲指定法（図7）を参照し、この項目の値が1で有効範囲が絶対的な位置により指定されているのでS105の処理に進み、これ以外の場合には、有効範囲が携帯電話移動局22のいずれかの位置に対して相対的に指定されているのでS104の処理に進む。

【0085】

ステップ104（S104）において、検索部152は、メールに含まれる送信情報（時空間情報）の有効範囲の第1の数値（ユーザ名を示す。例えば、図7の第2の項目の有効範囲の第1の数値（ユーザ名）090456789012）を用いて、位置DB160が記憶・管理する位置情報テーブル（図5）を検索し、検索の結果得られ、有効範囲の中心として指定された携帯電話移動局22の位置情報（この場合、北緯36度32分10秒、東経139度03分35秒）を得る。

【0086】

ステップ105（S105）において、検索部152は、送信情報（時空間情報）において直接、指定され、あるいは、S104の処理により得られた有効範囲の中心の位置情報を用いて、位置DB160に記憶されている位置情報テーブル（図5）を検索し、有効範囲の中心から指定された半径の範囲内に存在する携帯電話移動局22（該当携帯電話移動局22）の全てのユーザ名を得る。

【0087】

ステップ106（S106）において、検索部152は、S105の処理により得られた、有効範囲内に位置する携帯電話移動局22（該当する携帯電話移動局22）の数が、送信情報（時空間情報）が指定する最大受信者数より大きい場合と否かを判断し、該当する携帯電話移動局22の数が最大受信者数より大きい場合にはS107の処理に進み、これ以外の場合にはS109の処理に進む。

【0088】

ステップ107（S107）において、検索部152は、該当する携帯電話移

動局 22 の数が、指定された最大受信者数と同じか否かを判断し、これらの数が同じ値の場合には S 1 1 1 の処理に進み、これ以外の場合には S 1 0 8 の処理に進む。

【0089】

ステップ 108 (S 1 0 8) において、検索部 152 は、送信情報(時空間情報)のカテゴリの項目を用いて、個人 DB 162 が記憶・管理する個人情報テーブル(図 6)を参照し、カテゴリの項目と一致する個人情報が設定された携帯電話移動局 22 のユーザ名を得ることにより、ユーザ数の数を減少させ、最大受信者数以下になるように絞り込みを行う。

【0090】

ステップ 109 (S 1 0 9) において、検索部 152 は、時空間 DB 164 が記憶・管理する送信情報テーブル(時空間情報テーブル; 図 7)の対応する項目の最大受信者数を、S 1 0 5 の処理において求められたユーザ数に合わせて値を減らし、値を減らした新たな情報を該当する項目に設定する(S 1 1 0)。

【0091】

ステップ 111 (S 1 1 1) において、検索部 152 は、ここまでの処理により、提示情報(時空間情報のコンテンツ; 図 7)の配信先として選択された携帯電話移動局 22 のユーザ名を送信部 144 に対して出力する。

【0092】

ステップ 112 (S 1 1 2) において、送信部 144 は、検索部 152 から入力されたユーザ名それぞれを宛先とし、受信した送信情報(時空間情報)を内容とするショートメールを作成し、配信先として選択された携帯電話移動局 22 に対して送信する。

【0093】

以下、サーバ 12 が受信したショートメールに含まれた送信情報(時空間情報)に含まれる作成者が 09045678901、メッセージ ID が 2001、カテゴリが C、有効時刻が 08221900、有効範囲指定が 1(絶対)、有効範囲が(35度17分00秒、139度11分00秒、10000m)、最大受信者数が 2 の場合を具体例として、第 1 の時空間情報送信処理をさらに説明する。

【0094】

ステップ103において、サーバ12（図1，2）は、送信情報（時空間情報）の有効範囲指定法の値が1（絶対）なのでS105の処理に進む。

【0095】

ステップ105（S105）において、サーバ12は、送信情報（時空間情報）において直接、指定された有効範囲（35度17分00秒、139度11分00秒、1000m）を用いて、位置情報テーブル（図5）を検索し、該当する3つの携帯電話移動局22のユーザ名（09012345678，09023456789，09034567890）を得る。

【0096】

ステップ106（S106）において、サーバ12は、S105の処理により得られた携帯電話移動局22の数が、最大受信者数2より大きいのでS107の処理に進む。

【0097】

ステップ107（S107）において、サーバ12は、該当する携帯電話移動局22の数が、指定された最大受信者数と同じでないのでS108の処理に進む。

【0098】

ステップ108（S108）において、サーバ12は、個人情報テーブル（図6）を検索して、カテゴリCの携帯電話移動局22のユーザ名を探し、ユーザ名の数を2つ（09012345678，09034567890）に絞り込み、S111の処理に進む。

【0099】

ステップ111（S111）において、サーバ12は、提示情報（時空間情報のコンテンツ；図7）の配信先としてユーザ名（09012345678，09034567890）を選択する。

【0100】

ステップ112（S112）において、サーバ12は、選択したユーザ名（09012345678，09034567890）それぞれを宛先とし、受信し

た送信情報（時空間情報）を内容とするショートメールを作成し、配信先として選択された携帯電話移動局 22 に対して送信する。

【0101】

〔第 2 の時空間情報送信処理〕

次に、図 17 および図 18 をさらに参照して、携帯電話移動局 22（図 1，図 9）のいずれかが、図 12 あるいは図 14 に示したように、サーバ 12（図 1，2）に対して位置情報（GPS データ）あるいは個人情報を送信した場合に、サーバ 12 から携帯電話移動局 22 に対してショートメールを送信する処理（第 2 の時空間情報送信処理）を説明する。

図 17 は、通信システム 1（図 1）における第 2 の時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

図 18 は、通信システム 1（図 1）における第 2 の時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【0102】

図 17 および図 18 に示すように、ステップ 201（S201）において、携帯電話移動局 22 で動作するクライアントプログラム 24（図 10）の位置情報処理部 250 は、図 12 に示したように、周期的に GPS 制御部 254 に対して携帯電話移動局 22 の位置の測定を要求し、GPS 制御部 254 は、GPS 装置 230 を制御し、携帯電話移動局 22 の位置（緯度・経度）を示す GPS データを生成する。

あるいは、送信部 244 は、図 14 に示したように、ユーザの操作に応じて個人情報を生成する。

【0103】

ステップ 202（S202）において、GPS 制御部 254 は、生成した GPS データを送信部 244 に対して出力し、送信部 244 は、入力された GPS データを含むショートメールをサーバ 12 に対して送信する。

あるいは、送信部 244 は、生成された個人データを含むショートメールを、サーバ 12 に対して送信する。

【0104】

ステップ 203 (S203) において、サーバ 12 において動作するサーバプログラム 14 (図 3) の送信部 144 は、携帯電話移動局 22 から送られてきたメールを受信し、位置情報処理部 150 に対して出力する。

【0105】

ステップ 204 (S204) において、位置情報処理部 150 は、メールに含まれる GPS データまたは個人情報を用いて、位置 DB 160 が記憶・管理する位置情報テーブル (図 5) の内、または、個人 DB 162 が記憶・管理する個人情報テーブルの内、メールを送信した携帯電話移動局 22 に対応する項目を更新する。

【0106】

ステップ 205 (S205) において、検索部 152 は、更新された位置情報または個人情報を用いて時空間 DB 164 が記憶・管理する送信情報テーブル (時空間情報テーブル; 図 7) を検索する。

【0107】

ステップ 206 (S206) において、検索部 152 は、携帯電話移動局 22 が移動した結果、携帯電話移動局 22 の位置が送信情報テーブルの項目のいずれか 1 つ以上の有効範囲に入ったか否かを判断し、入った場合には、移動した携帯電話移動局 22 に対して送信すべき送信情報 (時空間情報) の全てを判定して、S207 の処理に進む。

また、検索部 152 は、携帯電話移動局 22 のユーザの個人情報が変更された結果、携帯電話移動局 22 に対していずれかの送信情報を送信する必要性が生じたか否かを判断し、送信する必要性が生じた送信情報 (時空間情報) の全てを判定し、S207 の処理に進む。

サーバプログラム 14 は、これ以外の場合には処理を終了する。

【0108】

ステップ 207 (S207) において、検索部 152 は、S206 の処理において送信する必要性が生じたと判定した送信情報 (時空間情報) のいずれか 1 つを送信部 144 に対して出力し、送信部 144 は、位置情報あるいは個人情報に変更が生じた携帯電話移動局 22 に対して入力された送信情報 (時空間情報) を含

むメールを送信する。

【0109】

ステップ208 (S208) において、位置情報あるいは個人情報に変更が生じた携帯電話移動局22は、サーバ12からのショートメールを受信する。

【0110】

ステップ209 (S209) において、検索部152は、時空間DB164に記憶・管理されている送信情報（時空間情報）の最大受信者数の値を1減じる。

【0111】

ステップ210 (S210) において、検索部152は、S209の処理において減らした最大受信者数の値が0になったか否かを判断し、0になった場合にはS211の処理に進み、これ以外の場合にはS212の処理に進む。

【0112】

ステップ211 (S211) において、検索部152は、最大受信者数の値が0になった送信情報（時空間情報）を消去する。

【0113】

ステップ212 (S212) において、検索部152は、位置情報または個人情報に変更が生じた携帯電話移動局22に対して、送信すべき全ての送信情報（時空間情報）の送信を終了したか否かを判断し、終了した場合には処理を終了し、これ以外の場合にはS207の処理に戻る。

【0114】

[サーバ12の時空間情報消去]

以下、図19を参照して、サーバ12（図1，2）が、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）を消去する処理を説明する。

図19は、サーバ12（図1，2）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すフローチャートである。

【0115】

図19に示すように、ステップ301 (S301) において、サーバ12において動作するサーバプログラム14（図3）の時空間DB164は、OS140により周期的（例えば、1分ごと）に起動され、起動された時空間DB164は

、OS 1 4 0 からその時点の時刻を取得する。

【0 1 1 6】

ステップ 3 0 2 (S 3 0 2) において、時空間 DB 1 6 4 は、記憶・管理している送信情報テーブル（時空間情報テーブル；図 7）から項目（送信情報（時空間情報））を 1 つ取り出し、処理対象とする。

【0 1 1 7】

ステップ 3 0 3 (S 3 0 3) において、時空間 DB 1 6 4 は、処理対象とした送信情報（時空間情報）の有効時刻の部分を取り出す。

【0 1 1 8】

ステップ 3 0 4 (S 3 0 4) において、時空間 DB 1 6 4 は、分離した有効時刻が示す時刻と、S 3 0 1 の処理において取得した時刻（現在の時刻）とを比較し、有効時刻を過ぎていたら S 3 0 5 の処理にすすみ、これ以外の場合には S 3 0 5 の処理に進む。

【0 1 1 9】

ステップ 3 0 5 (S 3 0 5) において、時空間 DB 1 6 4 は、S 3 0 4 の処理において有効時刻を過ぎていると判断した送信情報（時空間情報）を消去する。

【0 1 2 0】

ステップ 3 0 6 (S 3 0 6) において、時空間 DB 1 6 4 は、全ての送信情報（時空間情報）を処理したか否かを判断し、全てを処理した場合には処理を終了し、これ以外の場合には S 3 0 2 の処理に戻る。

【0 1 2 1】

【0 1 2 2】

[携帯電話移動局 2 2 の時空間情報消去]

以下、図 2 0 および図 2 1 を参照して、携帯電話移動局 2 2（図 1，9）が、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）を消去する処理を説明する。

図 2 0 は、携帯電話移動局 2 2（図 1，9）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すフローチャートである。

図 2 1 は、携帯電話移動局 2 2（図 1，9）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すシーケンス図である。

【0123】

図20および図21に示すように、ステップ401（S401）において、携帯電話移動局22において動作するクライアントプログラム24（図10）のDB部260は、OS240により周期的（例えば、1分ごと）に起動され、起動されたDB部260は、OS240からその時点の時刻を取得する。

【0124】

ステップ402（S402）において、DB部260は、位置情報処理部250に対して、その時点の携帯電話移動局22の位置（緯度・経度）を示すGPSデータを要求し、位置情報処理部250は、GPS制御部254からGPSデータを得てDB部260に対して出力する。

【0125】

ステップ403（S403）において、DB部260は、記憶・管理している送信情報（時空間情報）を1つ取り出し、処理対象とする。

【0126】

ステップ404（S404）において、DB部260は、OS240からその時点の時刻（現在時刻）を得て、処理の対象とした送信情報（時空間情報）の有効時刻と現在時刻とを比較し、その時点で有効時刻が過ぎているか否かを判断する。

DB部260は、有効時刻が過ぎている場合にはS405の処理に進み、これ以外の場合にはS406の処理に進む。

【0127】

ステップ405（S405）において、DB部260は、処理の対象としている送信情報（時空間情報）を消去する。

【0128】

ステップ406（S406）において、DB部260は、処理の対象としている送信情報（時空間情報）に含まれる有効範囲指定方法の値が1（絶対的位置範囲指定）であるか否かを判断し、絶対的位置範囲指定である場合にはS409の処理に進み、これ以外（相対的位置範囲指定）の場合にはS409の処理に進む。

【0129】

ステップ407（S407）において、DB部260は、相対的位置範囲の指定に用いられている携帯電話移動局22のその時点の位置情報（緯度・経度）を要求するショートメールをサーバ12に対して送信する。。

【0130】

ステップ408（S408）において、サーバ12（図1，2）が位置情報を要求するメールを受信すると、サーバプログラム14（図3）の検索部152は、位置DB160が記憶・管理する位置情報テーブルを検索し、相対的位置範囲の中心となる携帯電話移動局22の位置情報（緯度・経度）を含むメールを、要求を出した携帯電話移動局22に対して送信する。

携帯電話移動局22が、サーバ12から位置情報（緯度経度）を含むショートメールを受信すると、DB部260は、受信されたショートメールに含まれる位置情報（緯度・経度）を得る。

【0131】

ステップ409（S409）において、DB部260は、S402の処理で得たGPSデータが示す緯度・経度が、処理の対象となっている送信情報（時空間情報）の有効範囲の範囲内に入っているか否かを判断し、範囲内に入っている場合にはS411の処理に進み、これ以外の場合にはS410の処理に進む。

【0132】

ステップ405（S405）において、DB部260は、処理の対象としている送信情報（時空間情報）を消去する。

【0133】

[変形例]

なお、インターネット100（図1）と携帯電話システム2とを、別々に設ける必要は必ずしもなく、インターネット100と携帯電話システム2とを一体不可分に構成してもよい。

また、送信情報（時空間情報；図7）の設定は、携帯電話移動局22を介して行うだけでなく、サーバ12に対して直接行うようにしてもよい。

また、個人情報（図6）の設定は、携帯電話移動局22を介して行うだけでな

く、サーバ 1 2 に対して直接行うようにしてもよい。

また、有効時刻の定め方は、例えば、時間帯の開始時刻および終了時刻の両方を、送信情報テーブル（時空間情報テーブル；図 7）に設定するようにしたり、さらに年まで設定できるようにしたり、あるいは、時間帯の開始時刻と時間長とを設定するようにしてもよい。

【0 1 3 4】

〔効果〕

以上のように通信システム 1 を構成すると、基地局 2 0 2 の通信エリアに関わらず、例えば、A 駅から半径 2 0 0 m の範囲内にいる携帯電話移動局 2 2 に対して提示情報（送信情報（時空間情報）のコンテンツ）を送信するなど、絶対的な位置範囲を指定して提示情報を各携帯電話移動局 2 2 に対してブロードキャスト配信できる。

【0 1 3 5】

また、通信システム 1 においては、相対的に有効範囲の指定ができるので、例えば、携帯電話移動局 2 2 が自動車等に乗っていて移動している場合であっても、有効範囲を動的に変更して、提示情報をブロードキャスト配信することができる。

【0 1 3 6】

また、さらに、提示情報の配信先の携帯電話移動局 2 2 の数を限定したり、また、ユーザの属性によって提示情報を配信したり、配信しなかったりを指定できるので、ユーザに対して柔軟かつきめ細かい提示情報の配信が可能である。

【0 1 3 7】

〔第 2 実施形態〕

以下、本発明の第 2 の実施形態を説明する。

【0 1 3 8】

〔通信システム 3〕

図 2 2 は、本発明にかかる第 2 の移動体通信方法が適用される第 2 の通信システム 3 の構成を例示する図である。

図 2 3 は、図 2 2 に示した携帯電話・PHS 移動局 3 2 の構成を示す図である

図 24 は、図 22 に示した携帯電話・PHS 移動局 32 が、基地局 202 を介して通信する際の接続関係を示す図である。

図 25 は、図 22 に示した携帯電話・PHS 移動局 32 相互が直接的に通信する際の接続関係を示す図である。

【0139】

図 22 に示すように、通信システム 3 は、図 1 に示したサーバ 12、インターネット 100、ゲートウェイ 102 および携帯電話システム 2 と、携帯電話・PHS 移動局 32-1 ~ 32-n（以下、いずれかを特定せずに示す場合には携帯電話・PHS 移動局 32 と記す）とを含む。

図 23 に示すように、携帯電話・PHS 移動局 32 は、図 9 等 に示した携帯電話移動局 22 に、PHS 用通信装置 320 を付加した構成を採る。

図 22, 24 に示すように、携帯電話・PHS 移動局 32 は、通信距離数 km 程度の携帯電話移動局 22 の機能により、基地局 202 およびサーバプログラム 14 を介して相互に音声通話およびショートメール通信を行う他、図 22, 25 に示すように、基地局 202 等を介さずに、携帯電話・PHS 移動局 32 相互間で直接、通信を行うことができるように構成されている。

【0140】

図 26 は、図 22, 23 に示した携帯電話・PHS 移動局 32 において実行されるクライアントプログラム 34 の構成を示す図である。

図 26 に示すように、クライアントプログラム 34 は、クライアントプログラム 24（図 10）に、提示情報処理部 340 を付加した構成を採る。

クライアントプログラム 34 は、これらの構成部分により、第 1 の実施形態におけるクライアントプログラム 24 と同様に、サーバ 12 と協働してショートメールの配信を行う他に、クライアントプログラム 34 相互間で直接、有効範囲等を指定したショートメールの配信を行う。

なお、クライアントプログラム 34 も、例えば、記録媒体 120 に記録された状態で携帯電話・PHS 移動局 32 に供給され、携帯電話・PHS 移動局 32 の携帯電話移動局 22（図 9）内部のフラッシュメモリ 222 等に記憶され、実行

される。

【0141】

〔提示情報処理部340〕

提示情報処理部340は、他の携帯電話・PHS移動局32から受信した送信情報（時空間情報；図7）を、時刻およびGPSデータ（携帯電話・PHS移動局32の位置（緯度・経度））に基づいて処理し、携帯電話・PHS移動局32の位置および時刻が指定された範囲内にある場合に、受信された送信情報（時空間情報）に含まれる提示情報（コンテンツ）を、携帯電話移動局22の表示・入力装置226に表示する。

【0142】

〔時空間情報送信処理〕

以下、図28および図29を参照して、通信システム3における送信情報（時空間情報）送信動作を説明する。

図27は、通信システム3（図22）における時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

図28は、通信システム3（図22）における時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【0143】

図27および図28に示すように、ステップ501（S501）において、ある携帯電話・PHS移動局32（例えば携帯電話・PHS移動局32-1）のクライアントプログラム34（図26）の送信部144は、他の携帯電話・PHS移動局32に配信しようとする提示情報をコンテンツとする送信情報（時空間情報）を含むショートメールを、他の携帯電話・PHS移動局32（例えば携帯電話・PHS移動局32-2）に対して送信する。

【0144】

ステップ502（S502）において、携帯電話・PHS移動局32-2のクライアントプログラム34の受信部144は、携帯電話・PHS移動局32-1から送られてきたショートメールを受信し、送信情報（時空間情報）を分離して提示情報処理部340に対して出力する。

【0145】

ステップ503 (S503) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、OS240からその時点の時刻（現在時刻）を得る。

【0146】

ステップ504 (S504) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、位置情報処理部250に対してその時点での携帯電話・PHS移動局32の位置（緯度・経度）を示すGPSデータを要求し、位置情報処理部250は、要求に応じてGPSデータを返し、提示情報処理部340は、GPSデータを得る。

【0147】

ステップ505 (S505) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、受信された送信情報（時空間情報）に含まれる有効時刻と、S503の処理により得た現在時刻とを比較し、その時点で有効時刻を過ぎている場合にはS506の処理に進み、これ以外の場合にはS507の処理に進む。

【0148】

ステップ506 (S506) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、受信された送信情報（時空間情報）を消去する。

【0149】

ステップ507 (S507) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、受信された送信情報（時空間情報）の有効範囲指定法の値が1（絶対的な有効範囲指定）であるか否かを判断し、絶対的な有効範囲指定が指定されている場合にはS510の処理に進み、これ以外の場合にはS508の処理に進む。

【0150】

ステップ508 (S508) において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、有効範囲の中心として設定された携帯電話・PHS移動局32（例えば携帯電話・PHS移動局32-3）に対してGPSデータの送信を要求するショートメールを送信する。

この要求に応じて、携帯電話・PHS移動局32-3のクライアントプログラム34は、携帯電話・PHS移動局32-3の位置（緯度・経度）を示すGPSデータを含むショートメールを携帯電話・PHS移動局32-2に返す。

【0151】

ステップ509（S509）において、携帯電話・PHS移動局32-2の受信部144は、携帯電話・PHS移動局32-3からのショートメールを受信し、このショートメールに含まれるGPSデータを提示情報処理部340に対して出力する。

提示情報処理部340は、このGPSデータを得る。

【0152】

ステップ510（S510）において、携帯電話・PHS移動局32-2の提示情報処理部340は、携帯電話・PHS移動局32-2の位置が、受信されたショートメールに含まれている送信情報（時空間情報）の有効範囲内であるか否かを判断し、携帯電話・PHS移動局32-2が有効範囲内である場合にはS512の処理に進み、これ以外の場合にはS511の処理に進む。

【0153】

ステップ511（S511）において、提示情報処理部340は、受信された送信情報（時空間情報）を消去する。

【0154】

ステップ512（S512）において、提示情報処理部340は、受信された送信情報（時空間情報）の最大受信数の値を1減らしてDB部260に対して出力する。DB部260は、提示情報処理部340から入力された送信情報（時空間情報）を記憶・管理する。

【0155】

ステップ513（S513）において、提示情報処理部340は、1減らした最大受信数の値が0であるか否かを判断し、値が0の場合には処理を終了し、これ以外の場合にはS515の処理に進む。

【0156】

ステップ514（S514）において、提示情報処理部340は、送信情報（

時空間情報)を送信部 2 4 4 に対して出力し、送信部 2 4 4 は、入力された送信情報(時空間情報)を含むショートメールを、他の携帯電話・PHS移動局 3 2 (例えば携帯電話・PHS移動局 3 2 - 4)に対して送信する。

【0 1 5 7】

〔時空間情報の消去〕

クライアントプログラム 3 4 (図 2 6)は、図 2 0 および図 2 1 に示したクライアントプログラム 2 4 の処理と同様に、有効時刻を過ぎた送信情報(時空間情報)を消去する。

【0 1 5 8】

〔変形例〕

図 2 9 は、図 2 2 に示した通信システム 3 の変形例を示す図である。

なお、第 2 の実施形態に示したクライアントプログラム 3 4 から通信装置 2 2 8 を削除した PHS 移動局 4 2 を複数(PHS 移動局 4 2 - 1 ~ 4 2 - 3)用いて、基地局 2 0 2 を介した通信を行わずに、PHS 移動局 4 2 相互間の直接通信のみを行い、配信先を位置的範囲を指定した提示情報の配信を行ってもよい。

【0 1 5 9】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明にかかる移動体通信システムおよびその方法によれば、具体的な位置を指定して通信相手を選択することができる。

また、本発明にかかる移動体通信システムおよびその方法によれば、具体的な位置を指定し、さらに、時間帯や属性をさらに指定して通信相手を選ぶことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる第 1 の移動体通信方法が適用される第 1 の通信システムの構成を例示する図である。

【図 2】

図 1 に示した通信システム 1 のサーバの構成を例示する図である。

【図 3】

図 1， 2 に示したサーバが実行するサーバプログラムの構成を示す図である。

【図 4】

サーバプログラムの位置情報処理部および OS が、DB 部に情報を設定する処理を例示するシーケンス図である。

【図 5】

図 3 に示したサーバプログラムの位置 DB が管理する位置情報テーブルを例示する図である。

【図 6】

個人 DB（図 3）が管理する個人情報テーブルを例示する図である。

【図 7】

時空間 DB（図 3）が管理する送信情報テーブル（時空間情報テーブル）を例示する図である。

【図 8】

サーバプログラム（図 3）の検索部が、DB 部に記憶・管理された情報を検索する処理を例示するシーケンス図である。

【図 9】

図 1 に示した通信システムの携帯電話移動局の構成を例示する図である。

【図 1 0】

図 1， 9 に示した携帯電話移動局が実行するクライアントプログラムの構成を示す図である。

【図 1 1】

通信システム（図 1）におけるメール通信処理を示すシーケンス図である。

【図 1 2】

通信システム（図 1）における位置情報収集処理を示すフローチャートである。

【図 1 3】

通信システム（図 1）において、ユーザが送信情報（時空間情報；図 7）を作成し、サーバに対して送信する処理を示すシーケンス図である。

【図 1 4】

通信システム（図 1）において、ユーザが個人情報（図 6）を作成し、サーバ 1 2 に対して送信する処理を示すシーケンス図である。

【図 1 5】

通信システム（図 1）における第 1 の時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

【図 1 6】

通信システム（図 1）における第 1 の時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【図 1 7】

通信システム（図 1）における第 2 の時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

【図 1 8】

通信システム（図 1）における第 2 の時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【図 1 9】

サーバ（図 1， 2）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すフローチャートである。

【図 2 0】

携帯電話移動局（図 1， 9）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すフローチャートである。

【図 2 1】

携帯電話移動局（図 1， 9）において、有効時刻を過ぎた送信情報（時空間情報）が消去される処理を示すシーケンス図である。

【図 2 2】

本発明にかかる第 2 の移動体通信方法が適用される第 2 の通信システムの構成を例示する図である。

【図 2 3】

図 2 2 に示した携帯電話・ P H S 移動局の構成を示す図である。

【図 2 4】

図 2 2 に示した携帯電話・ P H S 移動局が、基地局を介して通信する際の接続関係を示す図である。

【図 2 5】

図 2 2 に示した携帯電話・ P H S 移動局相互が直接的に通信する際の接続関係を示す図である。

【図 2 6】

図 2 2， 2 3 に示した携帯電話・ P H S 移動局において実行されるエクライアントプログラムの構成を示す図である。

【図 2 7】

通信システム（図 2 2）における時空間情報送信処理を示すフローチャートである。

【図 2 8】

通信システム（図 2 2）における時空間情報送信処理を示すシーケンス図である。

【図 2 9】

図 2 2 に示した通信システムの変形例を示す図である。

【符号の説明】

- 1， 3・・・通信システム
 - 1 0 0・・・インターネット
 - 1 0 2・・・ゲートウェイ
 - 1 2・・・サーバ
 - 1 2 0・・・記録媒体
 - 1 2 2・・・CPU
 - 1 2 4・・・入力装置
 - 1 2 6・・・表示装置
 - 1 2 8・・・通信装置
 - 1 3 0・・・記憶装置
 - 1 4・・・サーバプログラム
 - 1 4 0・・・OS

- 142・・・通信部
 - 144・・・送信部
 - 146・・・受信部
- 150・・・位置情報処理部
- 152・・・検索部
- 16・・・DB部
 - 160・・・位置DB
 - 162・・・個人DB
 - 164・・・時空間DB
- 2・・・携帯電話システム
 - 200・・・有線通信網
 - 202, 202-1～202-n・・・基地局
 - 22-1～22-m, 22・・・携帯電話移動局
 - 32-1～32-4・・・携帯電話・PHS移動局
 - 42-1～42-3・・・PHS移動局
 - 220・・・CPU
 - 222・・・フラッシュメモリ
 - 224・・・キーボード
 - 226・・・表示・入力装置
 - 228・・・通信装置
 - 230・・・GPS装置
 - 320・・・PHS用通信装置
 - 24, 34・・・クライアントプログラム
 - 240・・・OS
 - 242・・・通信部
 - 244・・・送信部
 - 246・・・受信部
 - 250・・・位置情報処理部
 - 254・・・GPS制御部

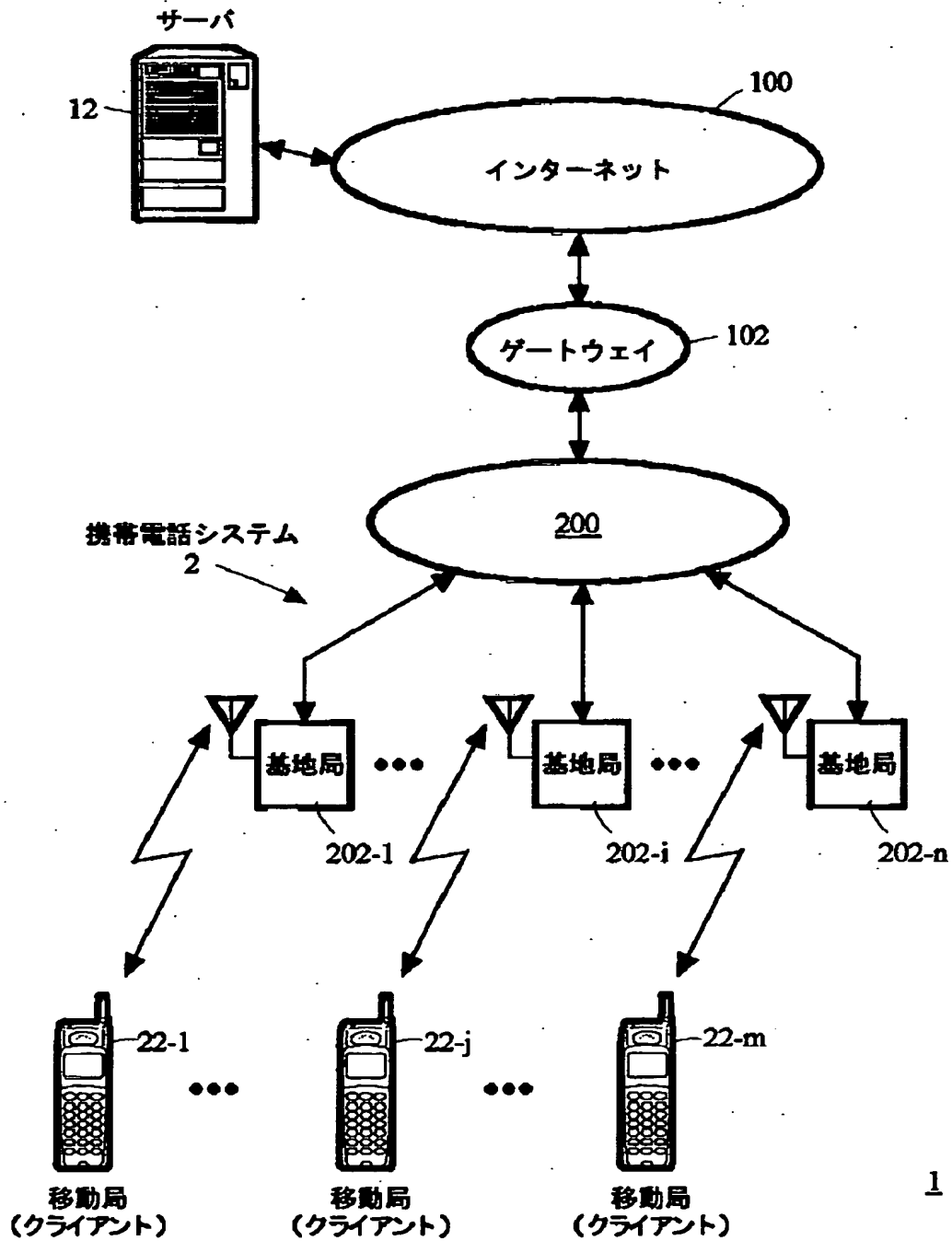
特平 1 1 - 0 6 3 8 4 4

2 6 0 . . . D B 部

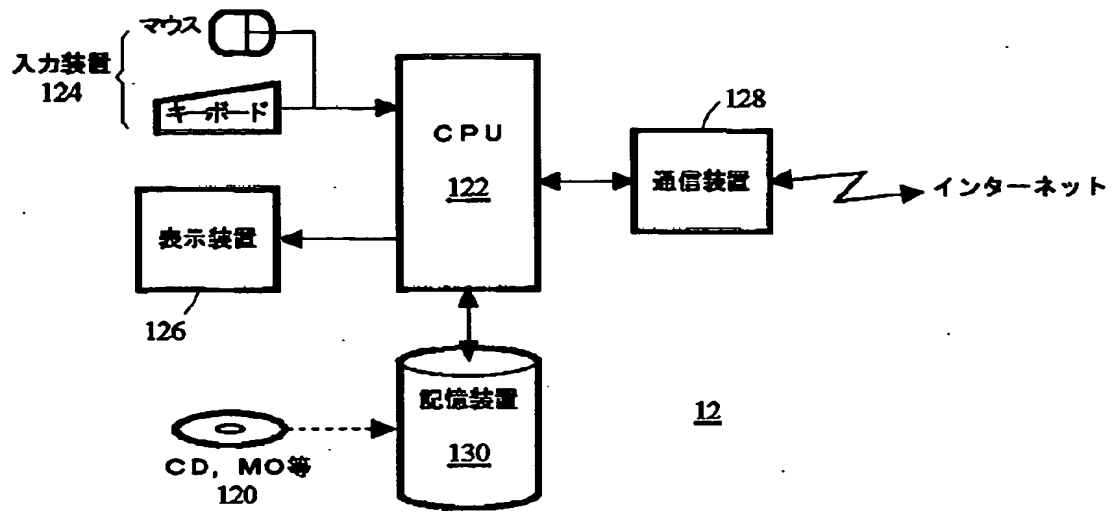
3 4 0 . . . 提示情報処理部

【書類名】 図面

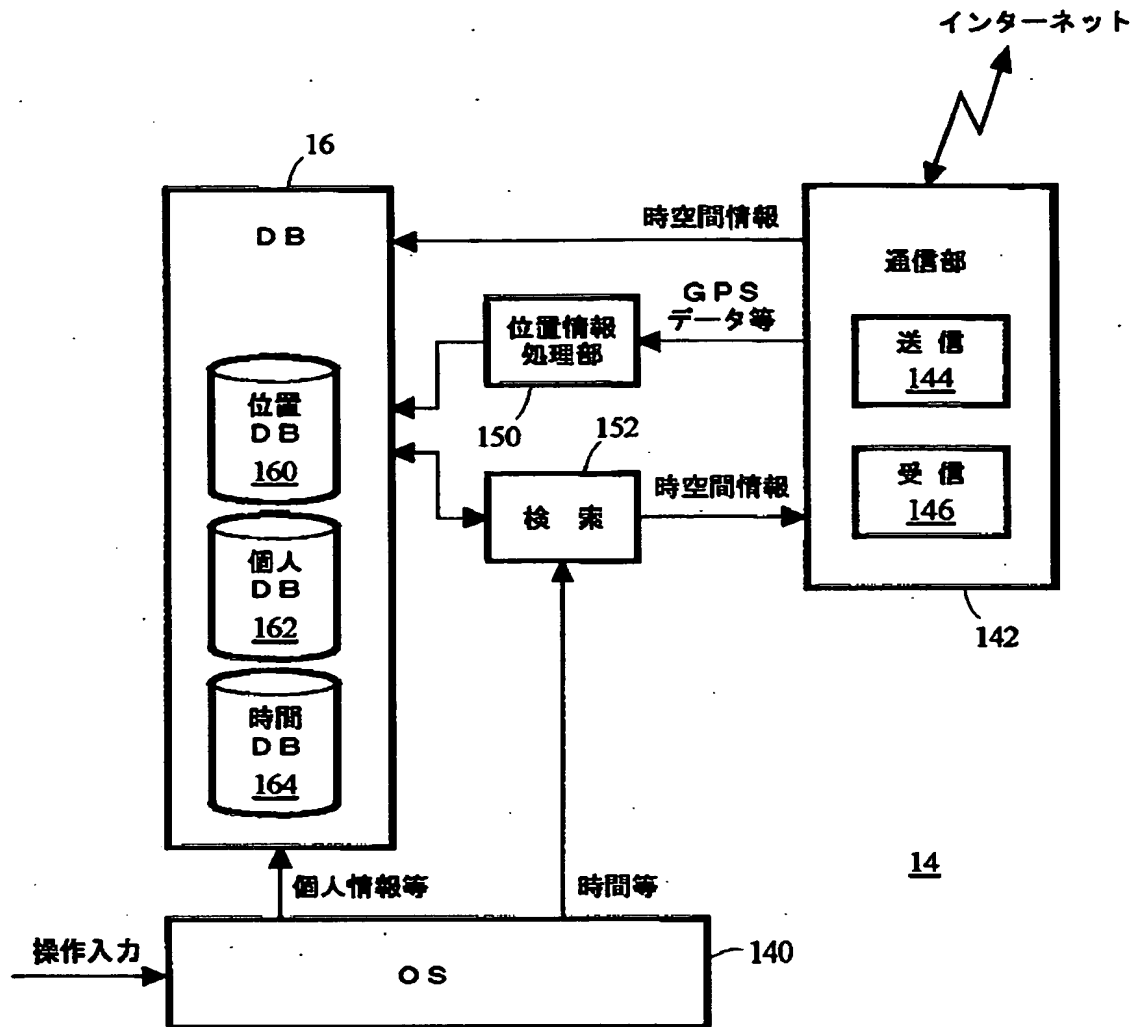
【図 1】



【図 2】



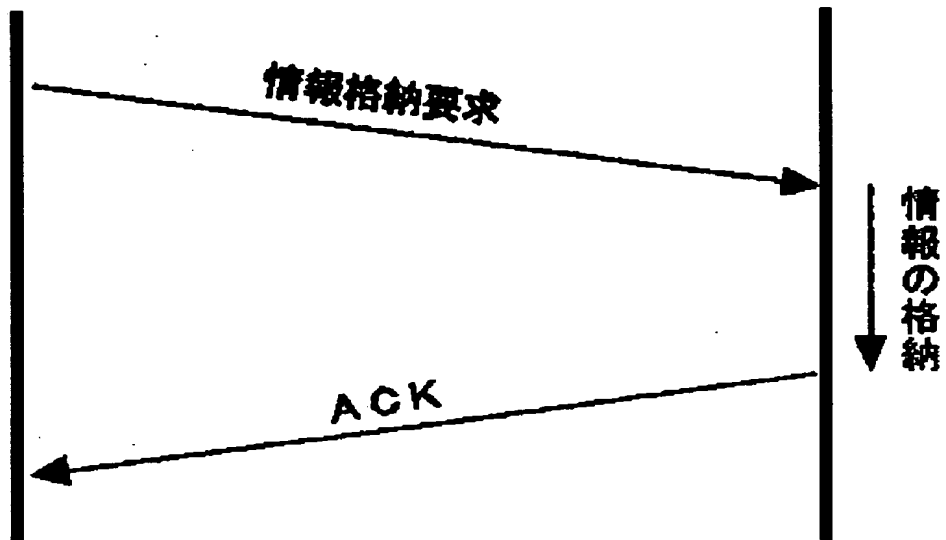
【図 3】



【図 4】

位置情報処理部
150
(受信部 246)

DB
16,260



【図 5】

ユーザ名	位置情報	
	北緯	東経
09012345678	35°18'05"	139°15'57"
09023456789	35°15'55"	139°08'44"
09034567890	35°19'58"	139°09'35"
⋮	⋮	⋮
09045678901	36°32'10"	139°03'35"
⋮	⋮	⋮

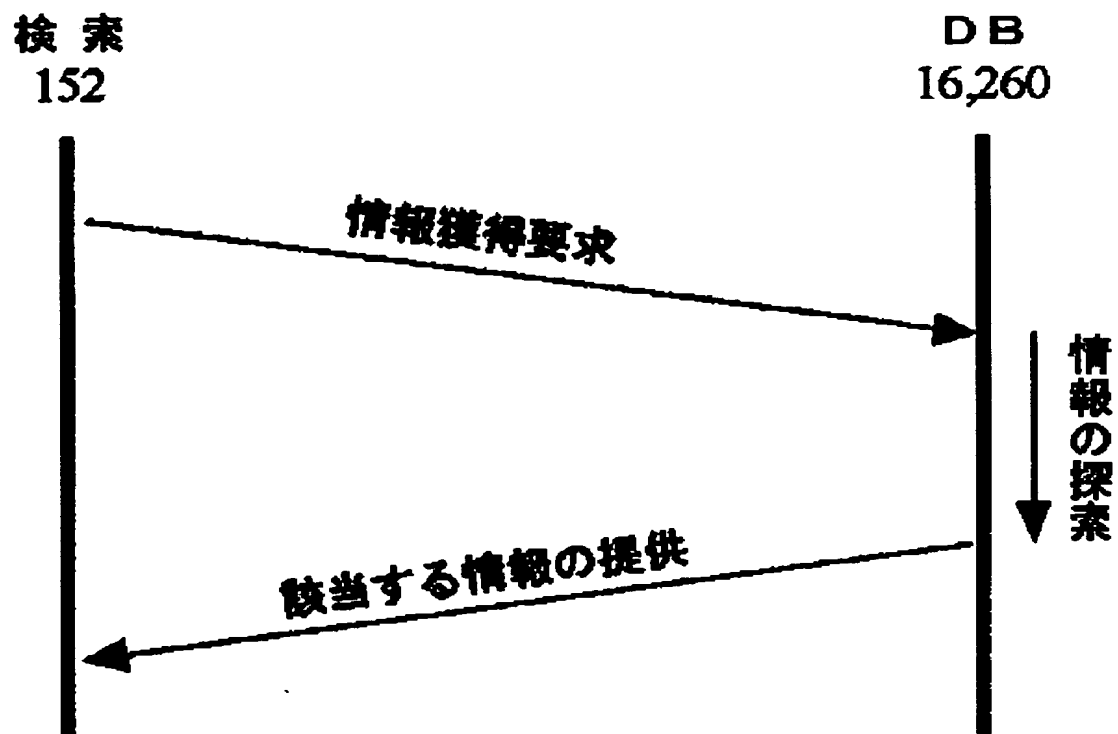
【図 6】

ユーザ名	個人情報
09012345678	A, B, C
09023456789	C, D
09034567890	A, B
⋮	⋮
09045678901	B, D
⋮	⋮

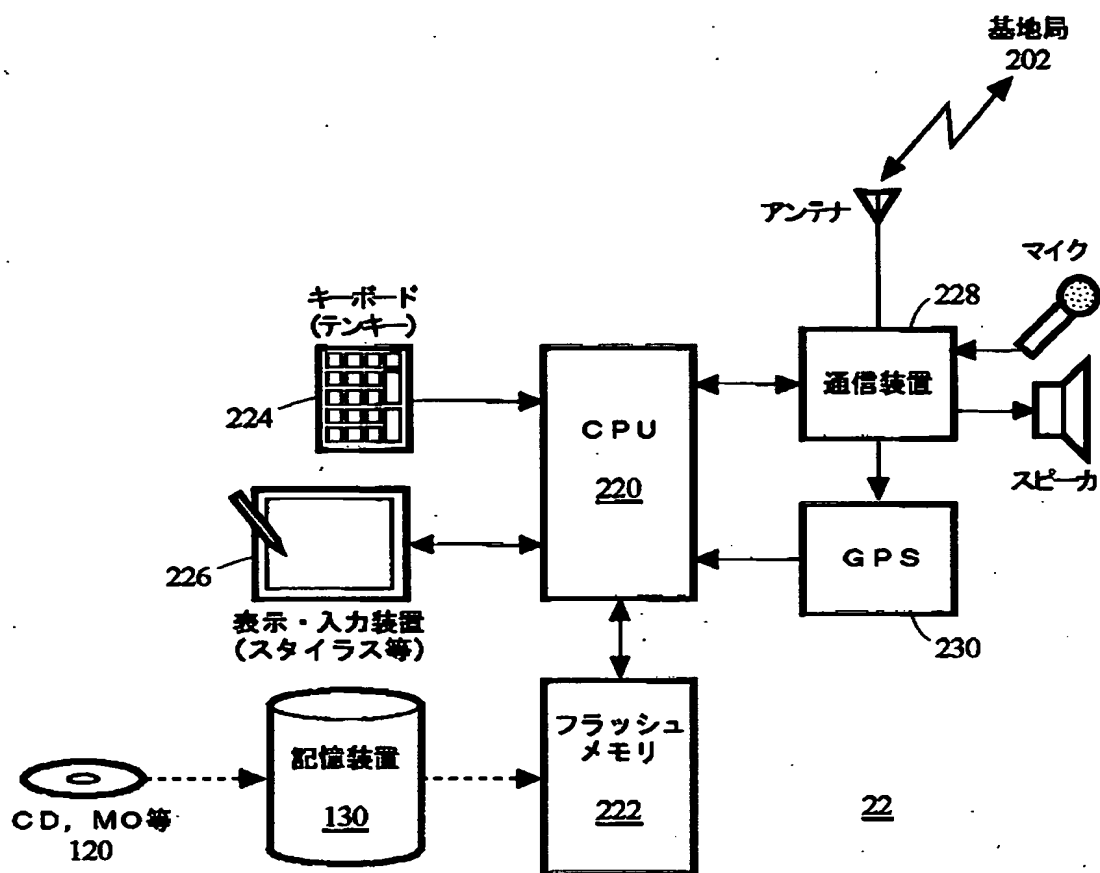
【図 7】

ユーザ名	メッセージ ID	カテゴリ	有効時刻	有効範囲指定法	有効範囲 (北緯、東経、距離 (m))	最大 受信者数	コメント
09012345678	1000	A, B	08221700	1 (絶対)	(36° 00' 01", 139° 16' 21", 2064)	10	---
09045678901	2000	C	08230900	2 (相対)	(09056789012, 1024)	10	---
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
09023456789	1024	D	08222200	1 (絶対)	(35° 42' 51", 140° 19' 06", 100)	20	---
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

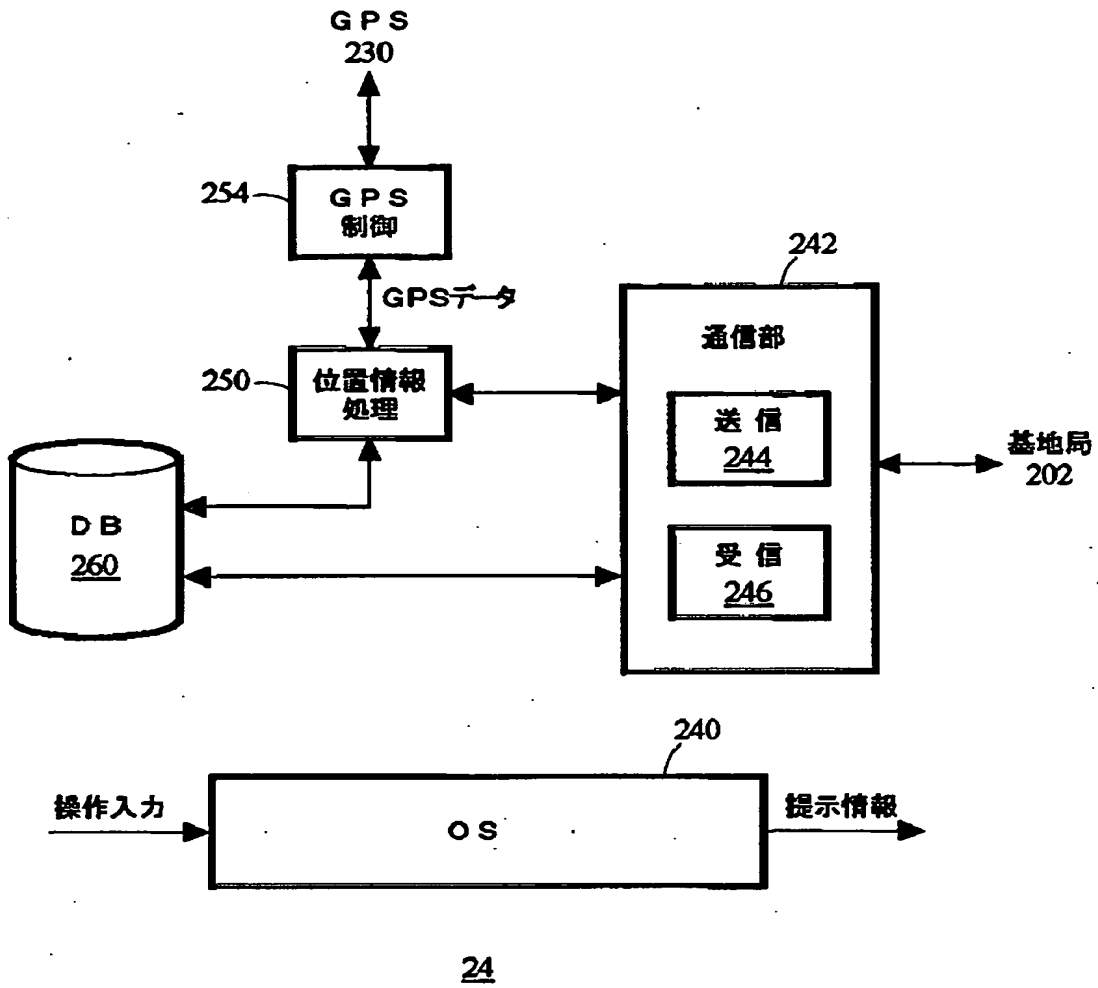
【図 8】



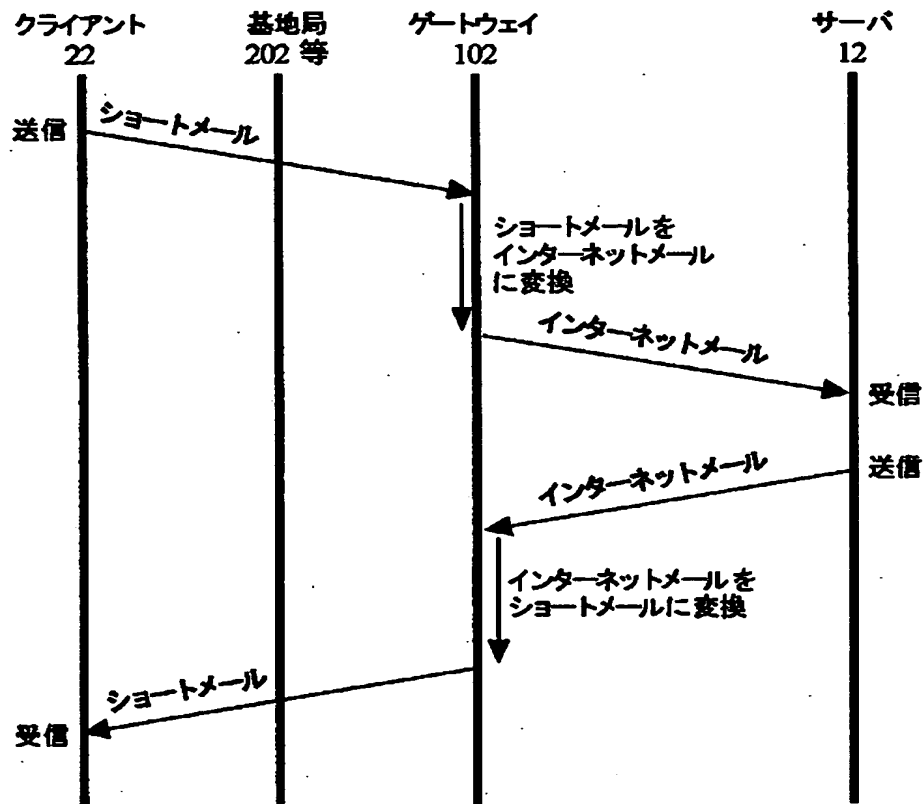
【図 9】



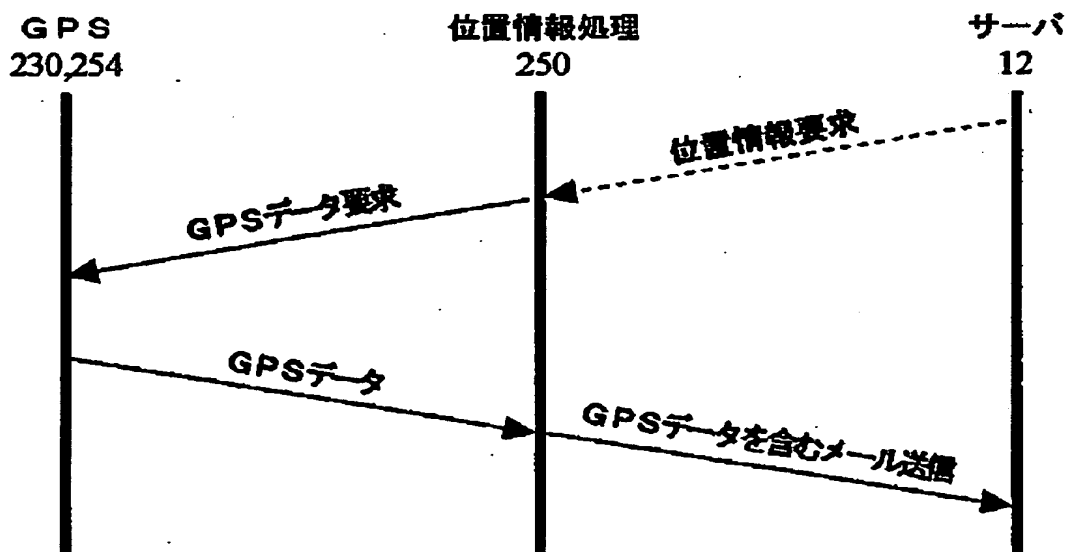
【図 1 0】



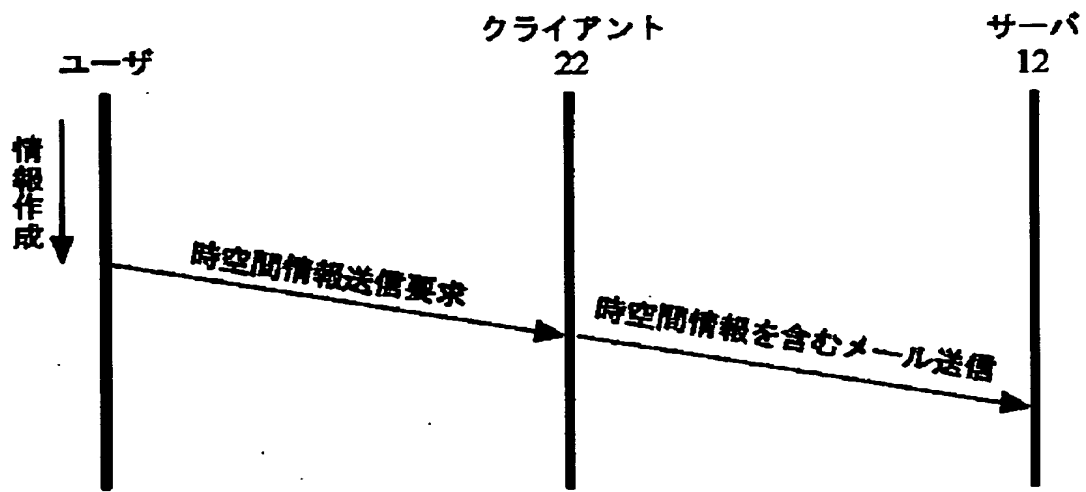
【図 11】



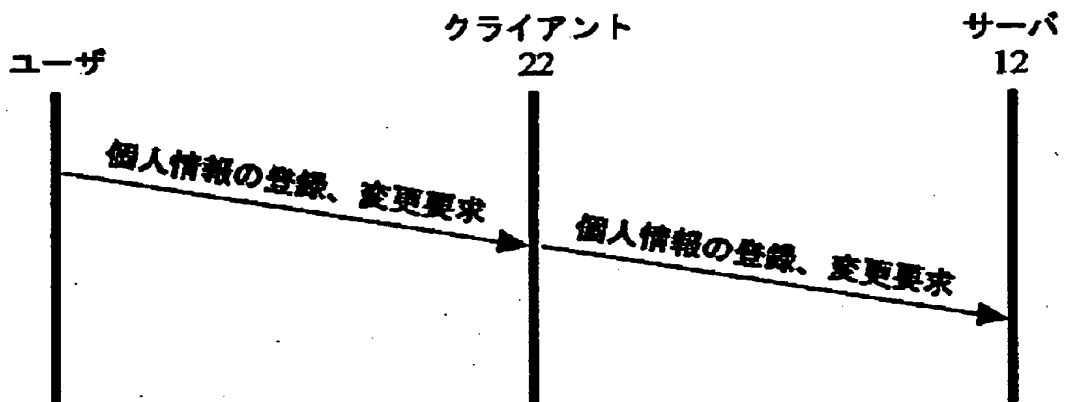
【図 12】



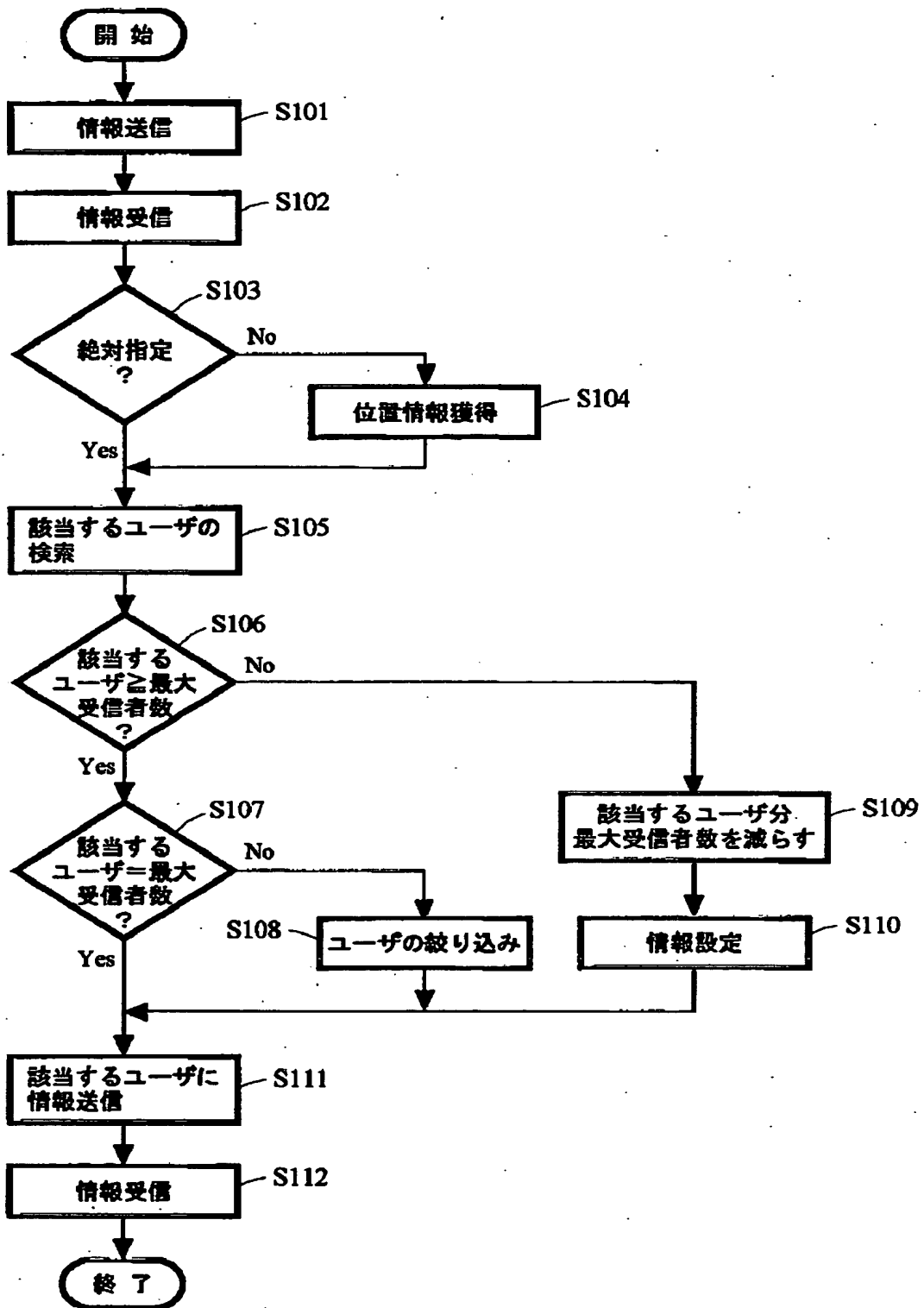
【図 13】



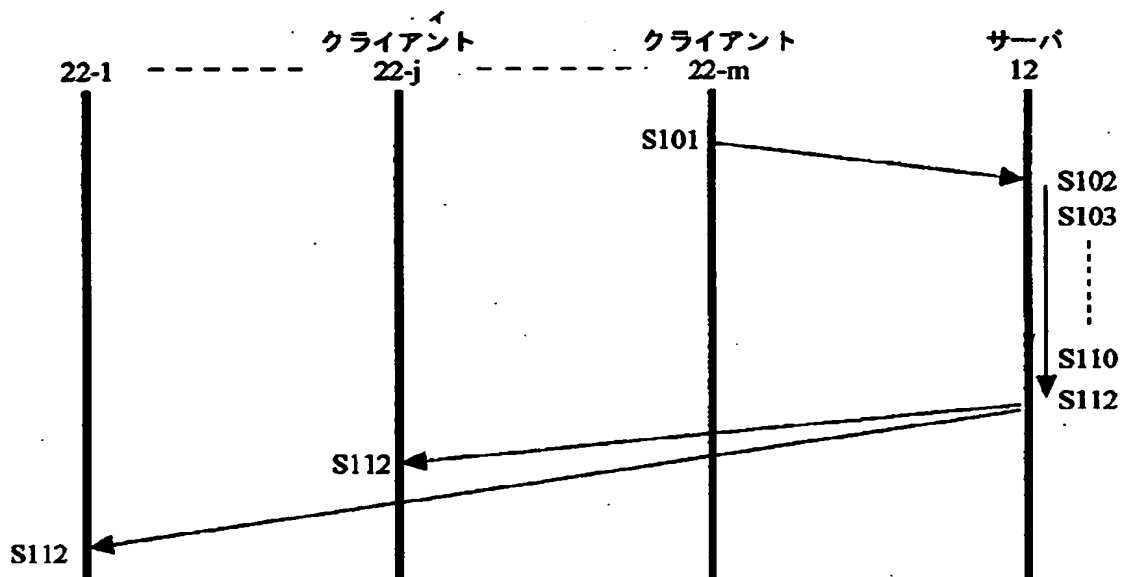
【図 14】



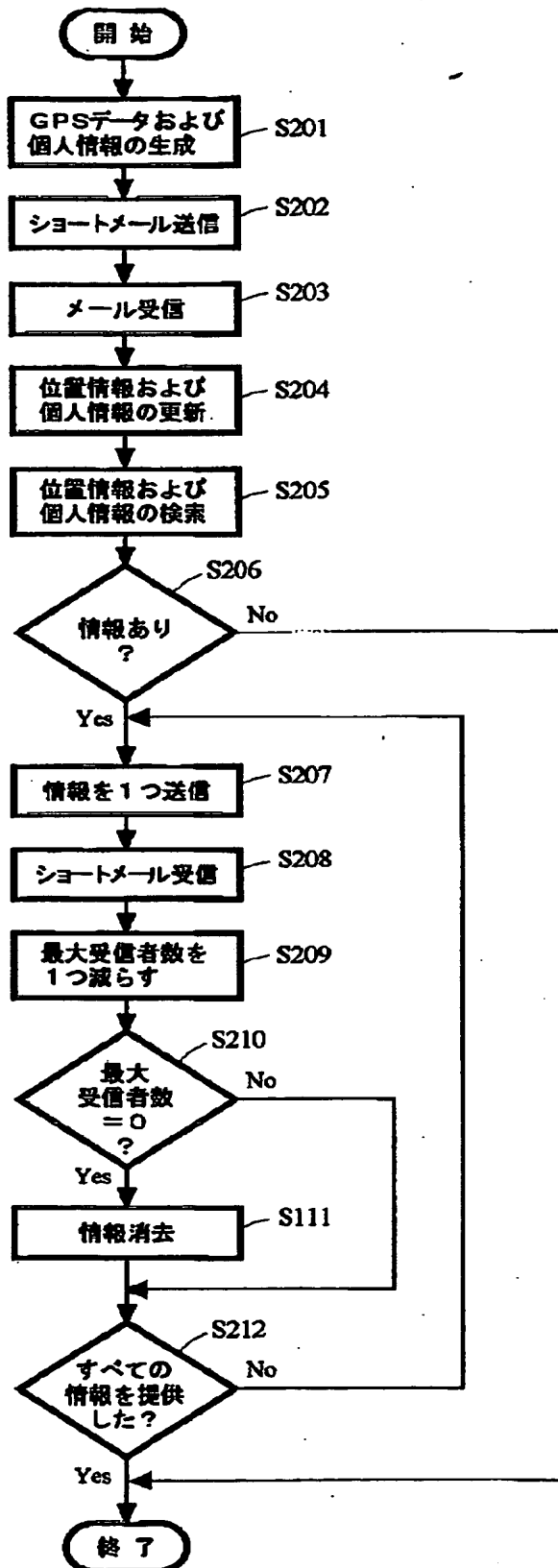
【図 15】



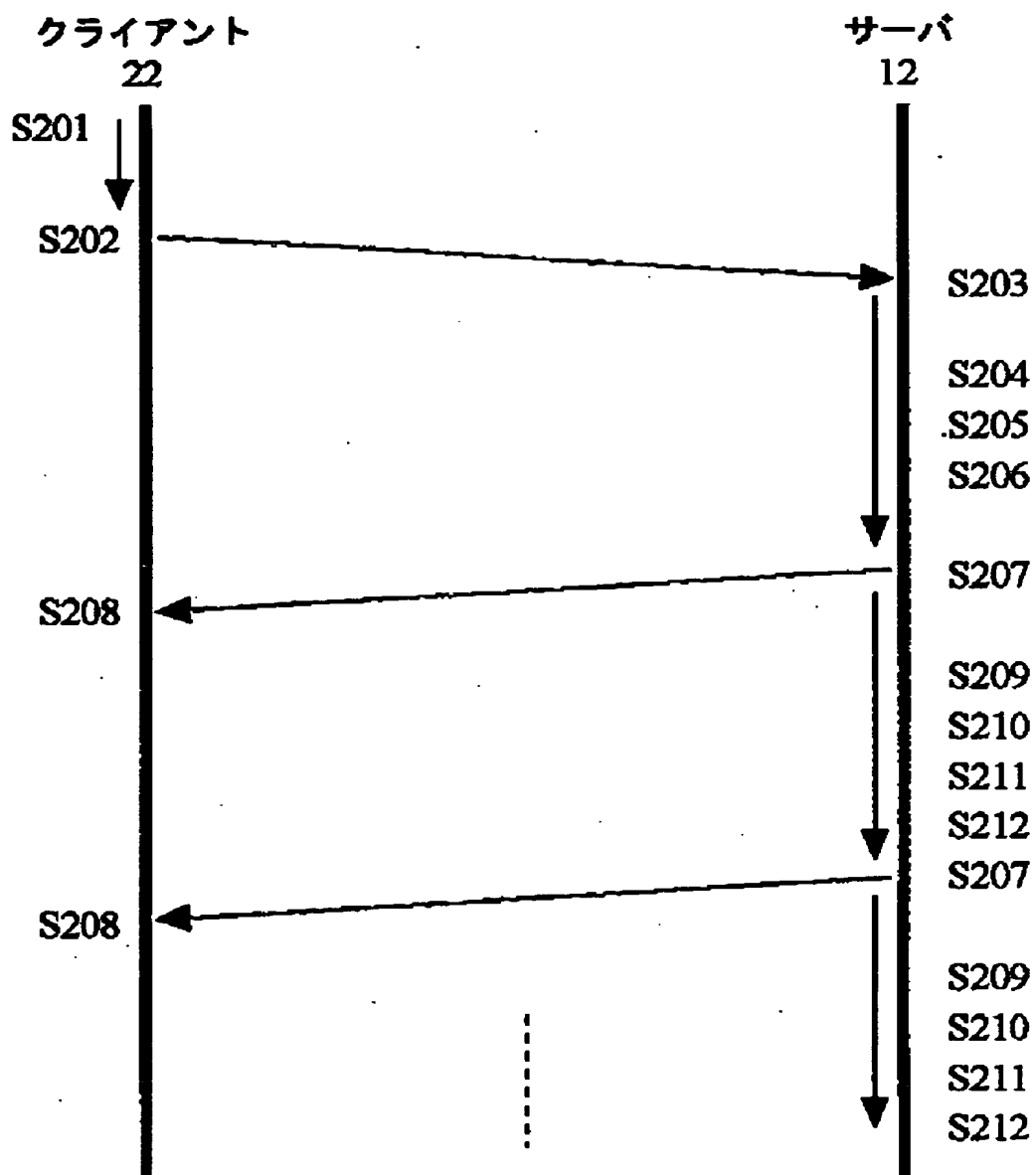
【図 1 6】



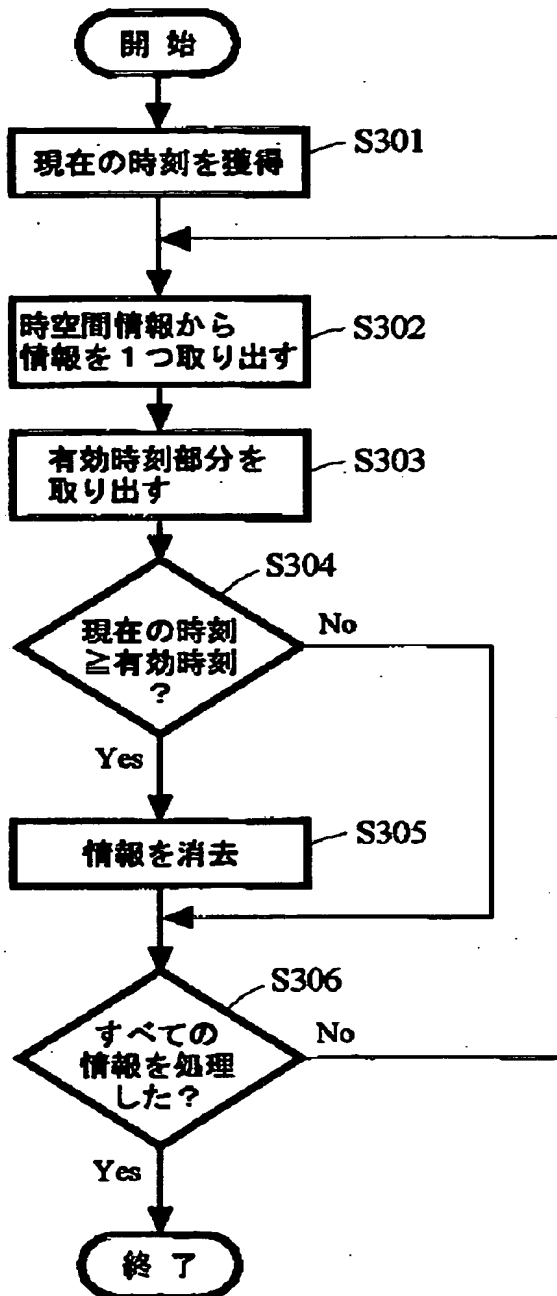
【図 1 7】



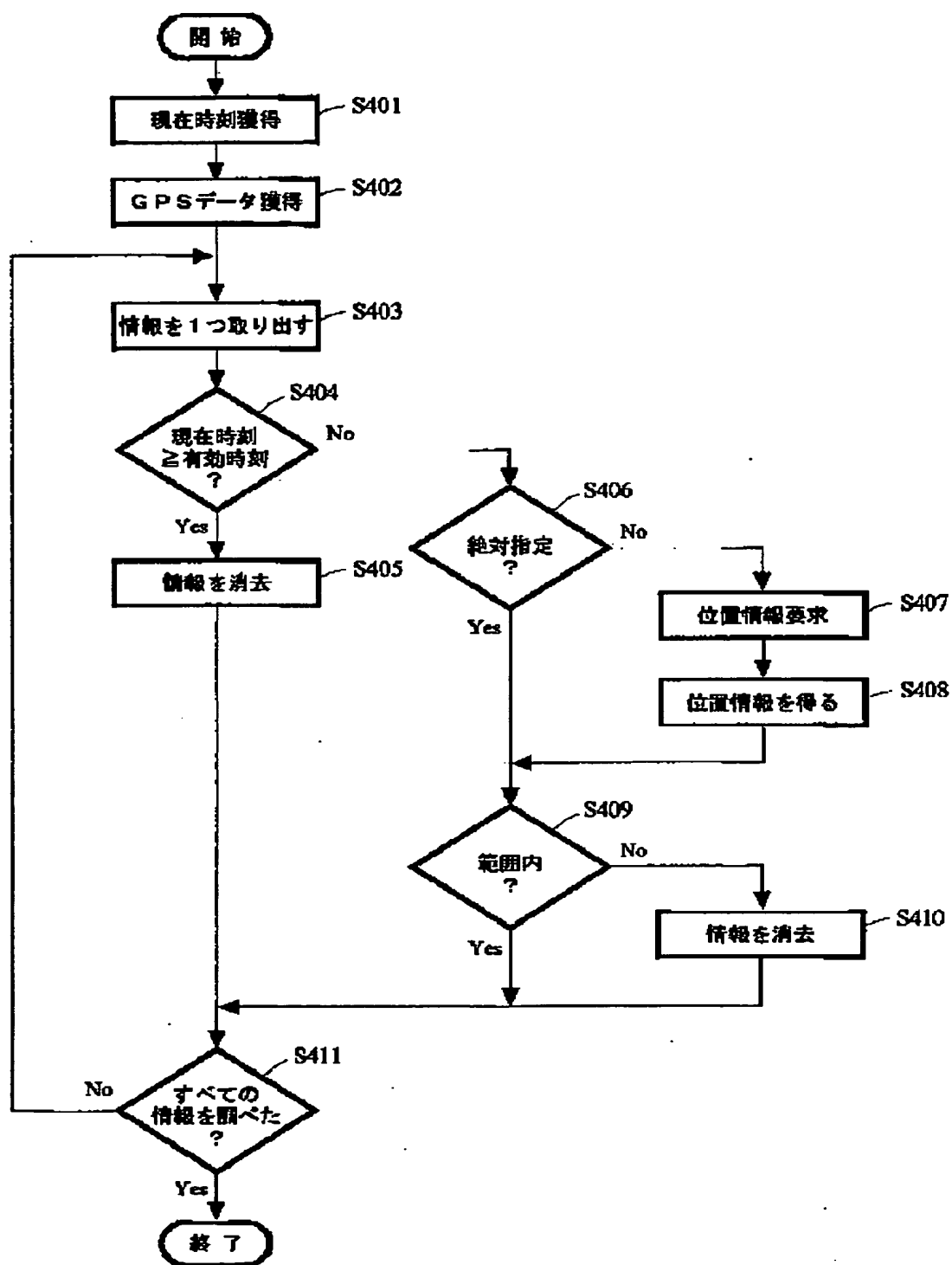
【図 1 8】



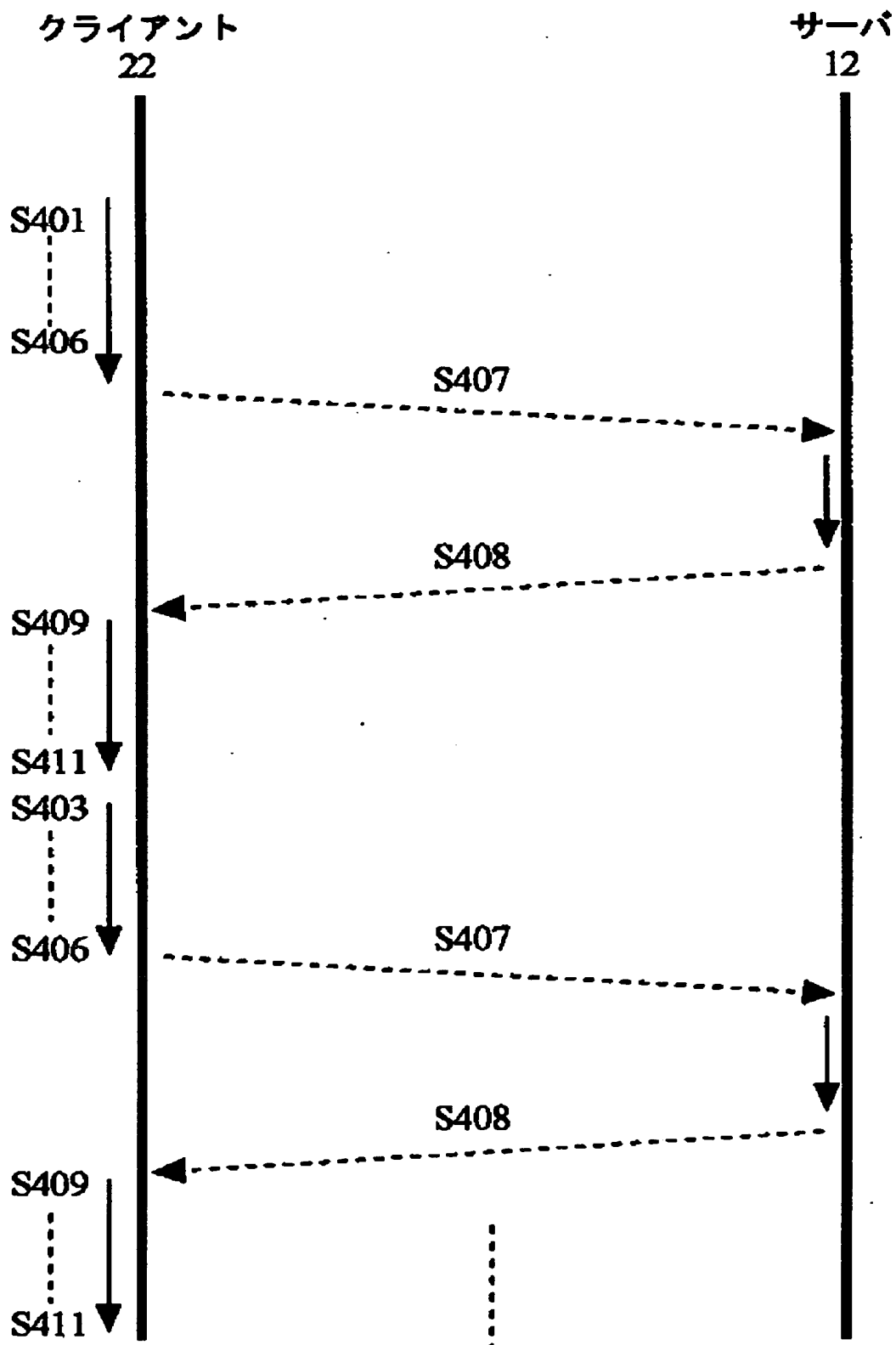
【図 19】



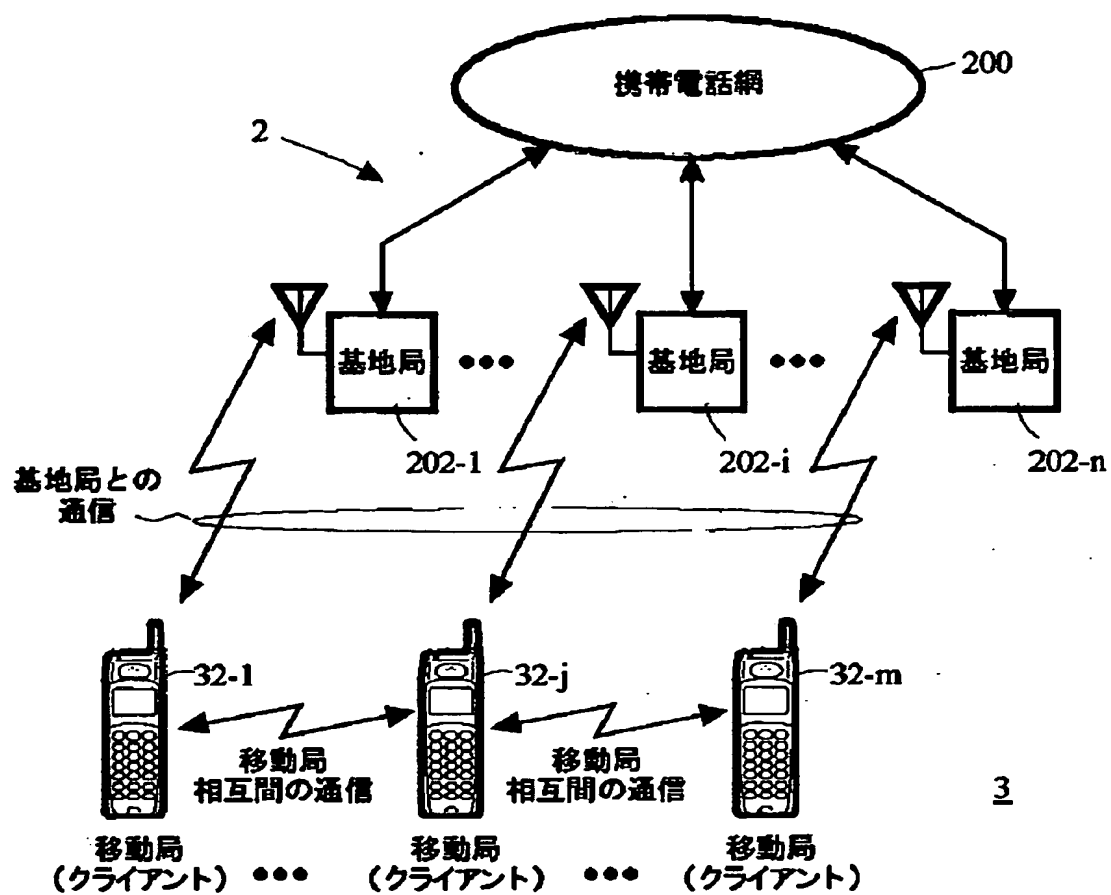
【図 20】



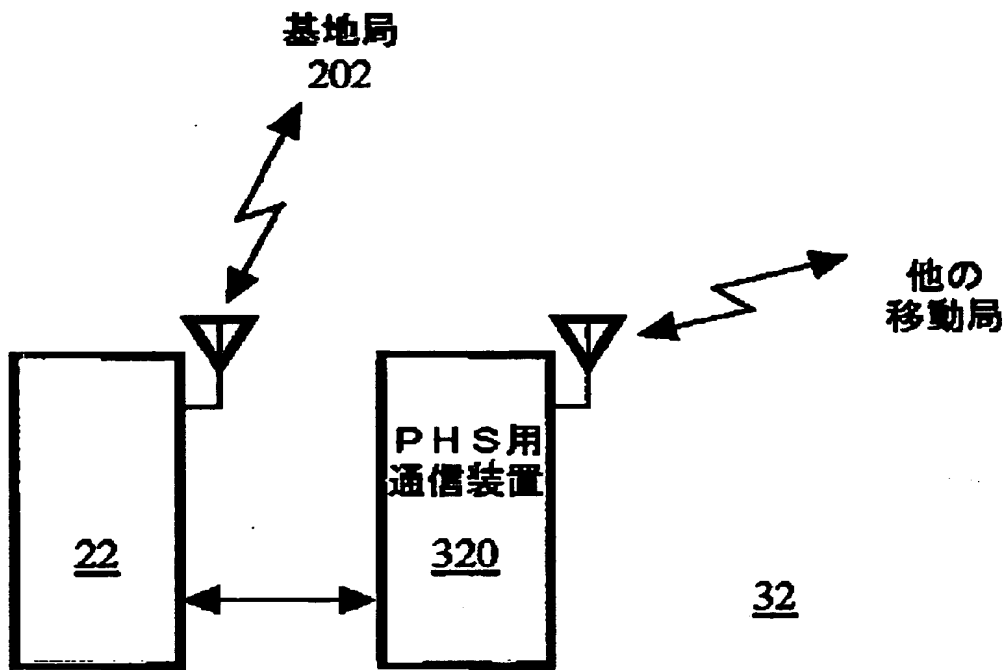
【図 21】



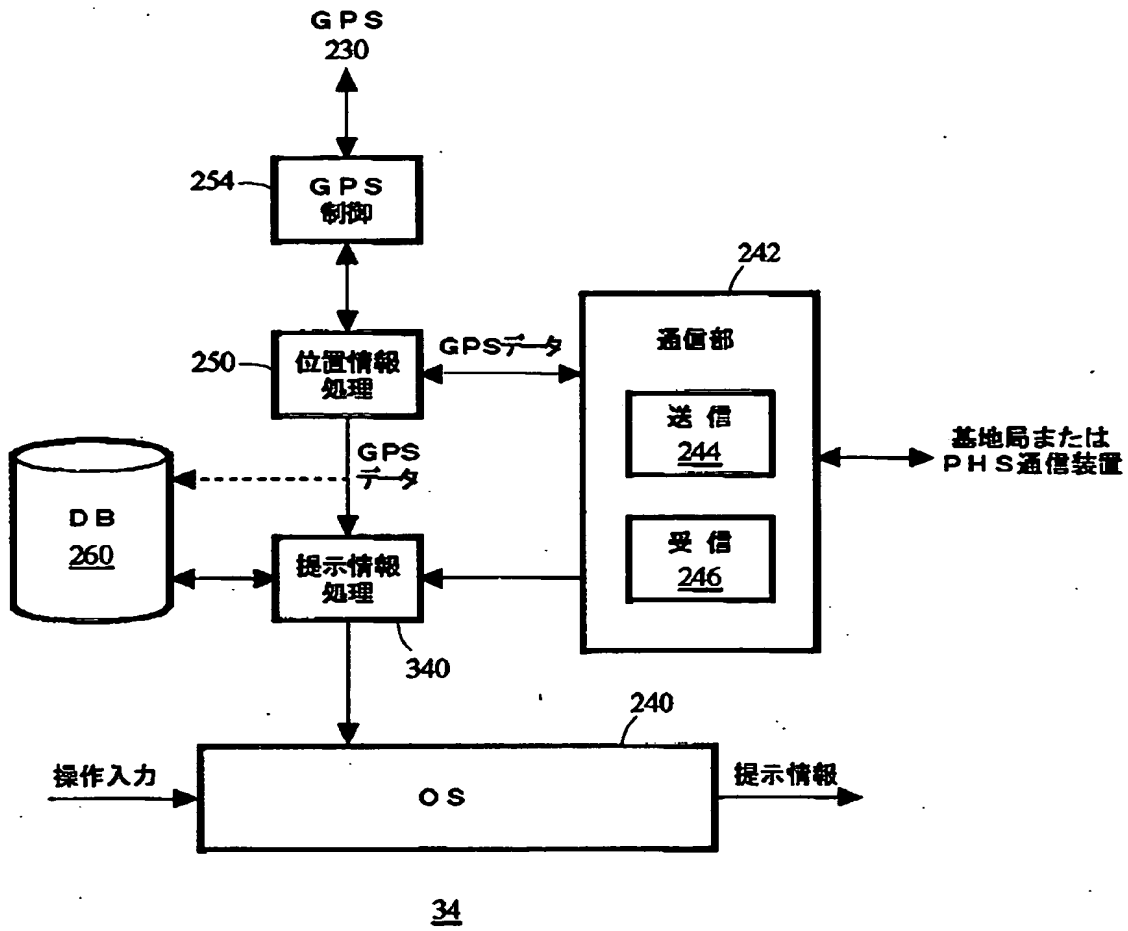
【図 2 2】



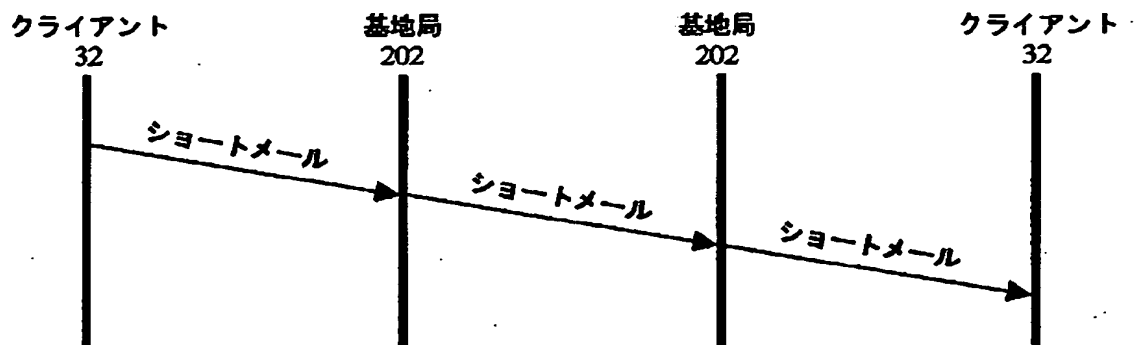
【図 2 3】



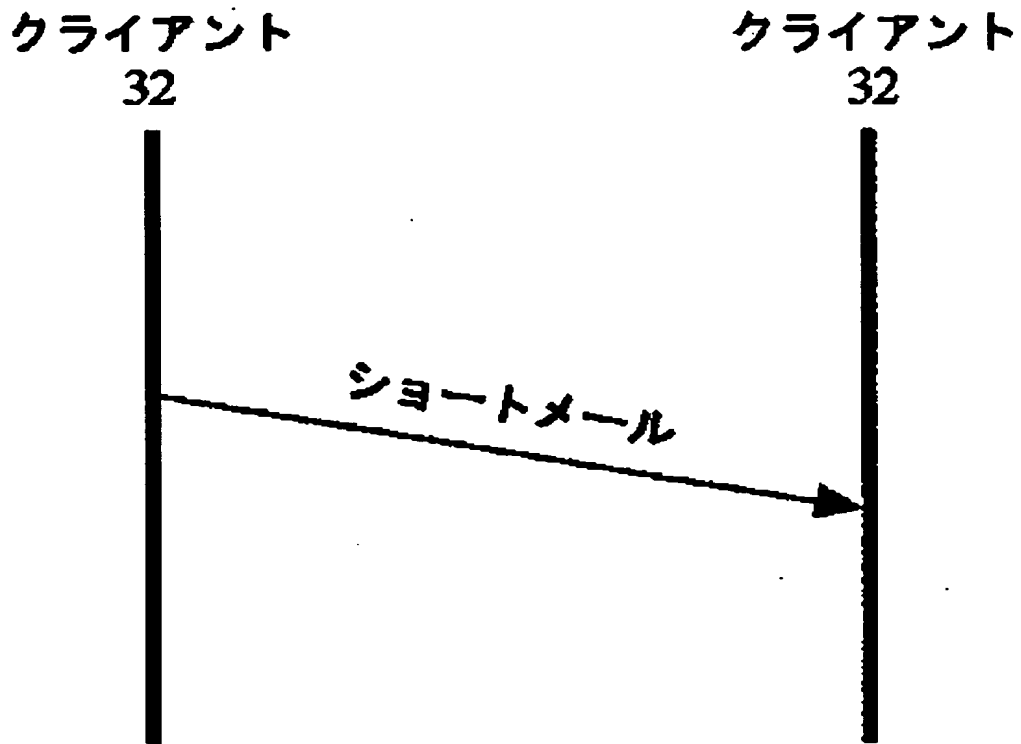
【図 2 4】



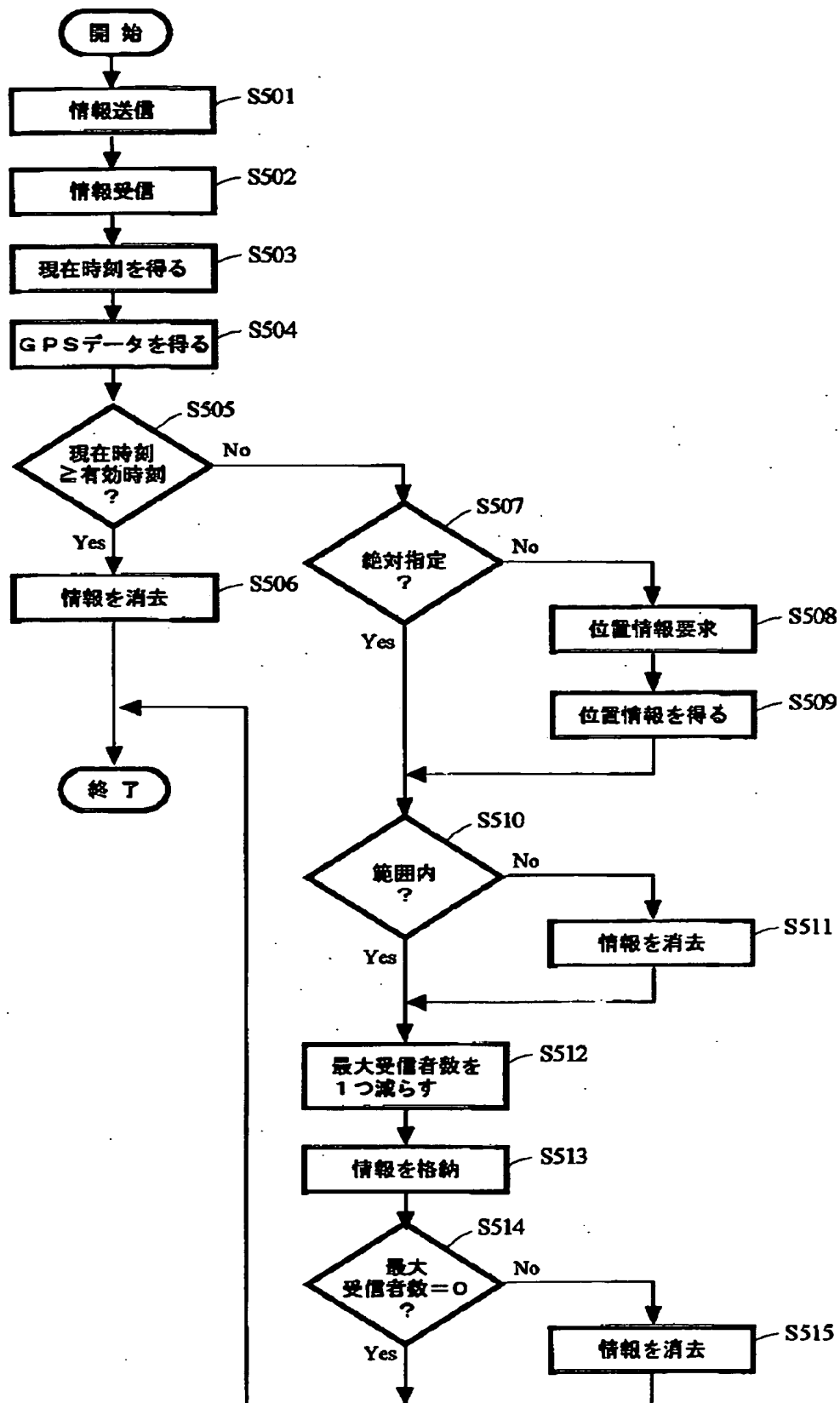
【図 2 5】



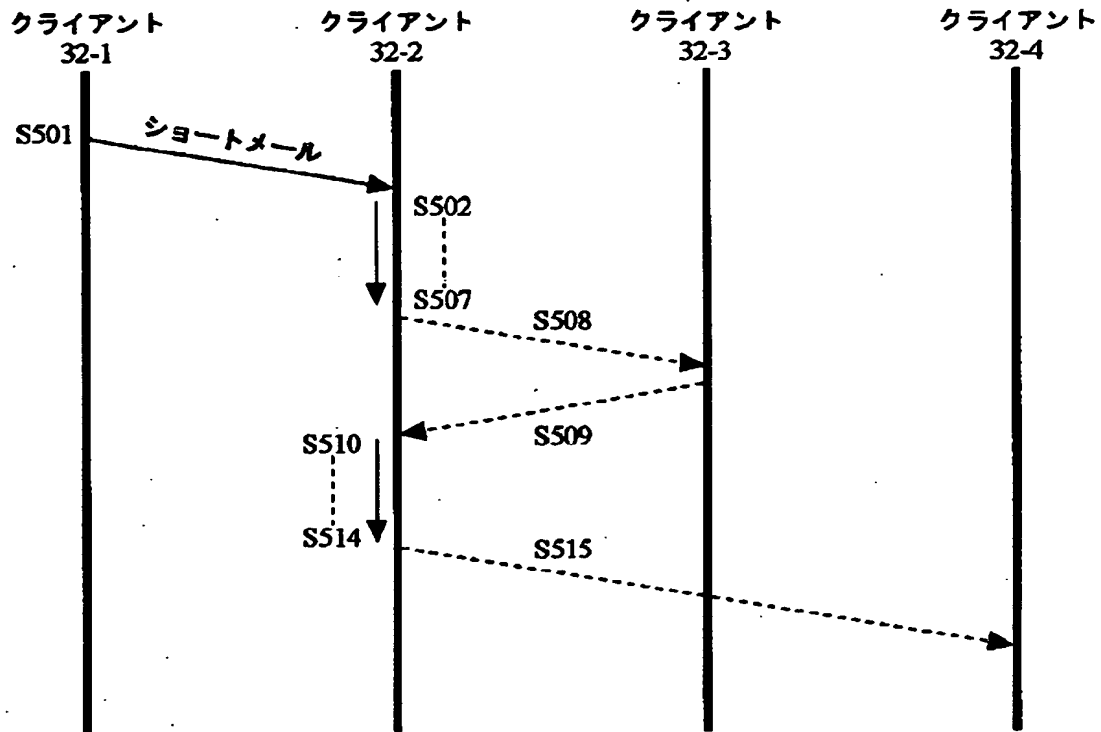
【図 2 6】



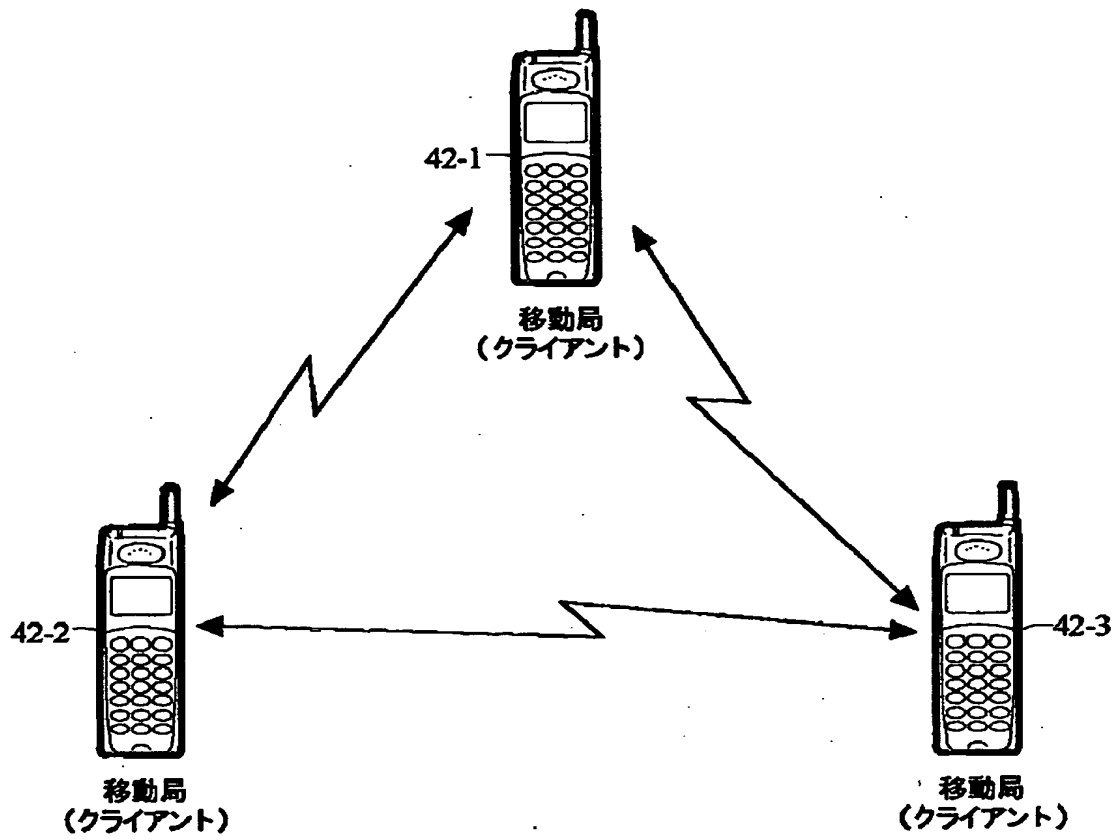
【図 2 7】



【図 2 8】



【図 29】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 移動体通信システムにおいて、具体的な位置を指定して通信相手を選択することができるようにする。

【解決手段】

サーバは、移動局 2 2 それぞれの位置情報（緯度・経度）を記憶・管理する。移動局 2 2 が、サーバ 1 2 に通信相手の位置的範囲の指定および提供する情報を含むメールを送信すると、サーバ 1 2 は、移動局 2 2 それぞれの位置情報と、メール内の範囲（中心の緯度・経度と半径）とに基づいて、各移動局 2 2 がこの範囲に入っているか否かを判断し、この範囲内にいる全ての移動局 2 2 のユーザ名（電話番号）を得る。範囲内にいる移動局 2 2 の数が多い場合には、サーバ 1 2 は、ユーザの属性等に基づいて移動局 2 2 の数の絞り込みを行い、最終的に得られた移動局 2 2 それぞれに対して、提供する情報を含むメールを送信する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	平成11年 特許願 第063844号
受付番号	59900218326
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成11年 3月12日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成11年 3月10日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390009531]

1. 変更年月日 1990年10月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州 アーモンク (番地なし)

氏 名 インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレイション